

1961.2.15 (水)

VOCALIZE

No. 51

AKCヴォーカライズ機関紙

編集 浅井幸三

おふくろは…

サトウ ハチロー

(一)

おふくろは
よじれた笑いの みみずく時計
目盛りの狂った寒暖計
やさしくみせてる 海のうねり
皮肉そのものの 口笛
そうして 甘ずっぱい子守唄

(二)

おふくろは
嘆きの輪をひろげるランプの笠
おふくろは
古いフランネルの寝巻
おふくろは 雨の夜の雨樋 (あまどい)
同じつぶやきのくりかえし

…詩集「おかあさん」より

Vocalize <51号>

- ◇ ニュース、AKCニュース…………… 2
- ◇ 必ず読んで下さい…………… 4
- ◇ みんなの歌「マンマ」…………… 5
- ◇ 「51号に寄せて」(松沢暢夫) …… 6
- ◇ 招待席C(大阪) N響をきいて… 8
- ◇ プロファイル
加藤久美子さん(十五) …… 11
- ◇ プロファイル
佐藤 征夫さん(十四) …… 12

2月の演奏会

名古屋 ◇CM ◆PM ■ステージ

- ◇ NHK交響楽団演奏会 指揮ウイルヘルム・シュヒター、ヴァイオリン潮田益子
3日夜 市公会堂
- ◆ アール・グラント・ショー
4日昼夜 市公会堂
- ◇ 大阪フィルハーモニー交響楽団演奏会
指揮 井町昭 12日昼 2市公会堂(労音B)
- ◆ トシコ・マリアーノ・カルテット公演
13日夜 名鉄ホール
- ◆ ペギー葉山ショー
18日夜 文化講堂(友の会B)
- ◆ 東京キューバンボーイズ
18日夜 19日昼夜 市公会堂(労音C)
- ◇ 外山滋ヴィオリン演奏会
23日4日夜 市公会堂(友の会A)
- ◆ スプリング・コーラス・パレード
デューク・エイセス、スリー・グレイセス
25日夜 文化講堂(芸文)
- ◇ 中山悌一(バリトン)「冬の旅」独唱会
26日夜 文化講堂(労音A)
- ◆ ラテン・フアンタジー
坂本政一とオルケスタ・ティピカ・ポル
テニア 28日夜 文化講堂(ロータリー)
- <3月上旬>
中山悌一(バリトン)
ニコロとナポリクインテット
No.1ジャズ・パレード
植野豊子(ヴァイオリン)
白樺合唱団



この欄はAKC関係者みんなの近況を知らせ合うためのものです。だれのことでも、どんなことでも、ぜひお知らせ下さい。

◇…永井 充君(八)の第三省君は、一月十五日午前死去された。充君とはもともと仲のよい兄弟だった東海高校二年在学中の人。十七歳。

◇…増田容子さん(六)は一月二十二日、大阪照井会館で華燭の典をあげられた。ご夫君は藤井清さん(二十八)日本楽器大阪支店業務課で、さる二十九年以来の交際が実ったもの。新居は大阪府池田市×××

なお、容子さんは、ヤマハ音楽教室の仕事が続けられるという。

◇…小川恵津子さん(七)は、勤め(芸芸大学附属小学校教諭)を昨年十二月末まででやめられ、目下結婚のための準備に追われている。挙式は四月二十九日、東京地区へ移られることになっている。

◇…また、同期の福岡二三子さん(七)は、四月十三日に挙式、新生活のスタートを切られる。いずれも詳細はあらためてお知らせする予定。

◇…大橋佑子さん(十)が指揮している愛知県立女子大学合唱団は、東大コールアカデミー演奏会(三月二十九日)に賛助出演が決まった。すでに後任指揮者の選出も終わっているの、大橋さんが振る最後の演奏会となりそう。

◇…十二期のつぎの三君が、新年度からヴォーカライズに参加することになった。十二期会員は、これで十二人となり、最高の加入期となる。

・石黒 鋒子(十二) 〓南山大学〓

名古屋市千種区清住町×××

・加藤 厚子(十二) 〓東京女子大学〓

東京都杉並区井荻×××

名古屋市千種区松栄町×××

・服部 修(十二) 〓国立三重大学〓

名古屋市中区往還町×××

◇…足立孝子さん(六)は、名鉄病院をやめ、昨年暮れより名古屋鉄道病院に勤務されている。

◇…浅井幸三君(五)は二月二十六日、同期会のために上京、同日および二十七日の二日間滞在する。東京地区会員で休暇のある方は、中日東京支社速記課あてご連絡下さい。

Chorus



—1月中旬—

鈴木 道郎(十二)

近況…動いています。予定…まだ当分は動かなくてはならないでしょう。くたばる予定はたてていません。

昭弘へ…誰だって追っかけられてる感じはあるよ。そいつから逃げ出すために散歩したり、学校へ出たりするのさ。たとえ授業中に居眠りしてても、その間だけは逃げられる。OBクラスに通ったのもそんな理由から。ほんとのことって、秋を感じるより多く三月を感じてたんだ。僕も「チマチマ」の方だから。(116)

誕生日おめでとう(2月)

二月二日	福岡二三子(七)	24歳
同日	千本木宣子(十)	21歳
同日	藤井 容子(六)	25歳
同日	竹内 英子(九)	22歳
同日	池谷 芳子(十四)	17歳
同日	同二十六日	24歳
同日	同二十七日	24歳

AKCニュース

◇…AKC恒例の「追い出しコンパ」は、二月五日午後一時から、名古屋市東区小川町の法輪寺で開かれた。ことし追い出される十三期からは上田、岡嶋、高橋、林、安田、川村、志水、鈴木、野村、藤野、力石の十一人が参加、送る側一、二年生十七人のもてなしを受けた。十三期の切り札である「お坊ちゃんトリオ」？（岡嶋・高橋・安田）の名唱はじめ、各人が得意のものを披露するなど、歌う方も食べる方にもぎやかだった。

◇…旭丘高校行事はつぎのとおり。

・予餞会（三年生を送る会）二月十一日
・第四回学力テスト

二月22日～27日

・35年度卒業式 三月1日

・二年生修学旅行 三月9日～15日

このうち修学旅行は、二年生が三班にわかれて九日から順次出発、四泊五日（うち車中一泊）の旅程で中国四国地方を回り、十三日から三日間に帰着する。なお、永井君（八）が写真撮影のため、いずれかの班に同行する予定である。

◇…AKCでは、一月中旬に新役員の選挙を行ない、つぎの各役員が決まった。いずれも現一年生（十五期）で、

新年度をまたず、ただちにこれらの新委員による運営に切りかえられた。

▽部長 内藤 毅

▽副部長 鈴木由美子

▽指揮者 三輪 貞寛・石原 治

▽伴奏者 加藤 郁子・白木 倭子

▽伴奏者 宮部 杏子・加藤久美子

AKCの現状と目標

現在、私たちのクラブの一番の悩みは、男子のクラブ員が少ないことです。このクラブは、発足当時より男声部員が少ないと聞いておりますが、現在もなおそれが続いており、一、二年で十二、三人しかおりません。それに、これからは二年生が勉強に追われて休みがちになりますので、ほんとうに困っております。ですから、一、二、三年前より始めた「同声」も、現在やむなく中止しております。せめて二十人はほしいと思います。四月にはいつてくる新一年生を多くとろうと、今からフアイトを燃やしています。

三十五年度の活動状況としては、五月に盲学校と交歓会を行ない、九月の文化祭にオペレッタを行なった程度でした。

◇…二月九日の午後、新役員を占めた一年生側が、生徒会予算のことなどで二年生を激しく追及するという、近來まれな事件が音楽室で繰りひろげられ、ちょうど来合わせたヴォーカライズの浅井会長も「うわさ以上に、いまの一年と二年の間はうまくいっていないらしい」と驚いていた。

私の考えていることとしては、第一に団結ということです。今まで、一年と二年との間が、しっくりといていなかったため、何ごとにおいてもうまくいかなかったのだと思います。だから、私は、このことをなくし、まず団結という一番基礎からやっていきたいと思います。

第二に、次の文化祭までは他との交流会をやらずに、今度はいってくる一年生としっかり手を握って、文化祭を目標にがんばりたいと思います。

だいたい現在のところこのような状態です。

時間がありましたら、歌の指導において下さい。火曜日以外は練習をしております。

部長・内藤 毅

A K C ヴォーカライズ

合唱団員募集…

四月から発足！

A K C ヴォーカライズでは、陽春四月を期して合唱団を発足させようと、いま準備をしています。多くの皆さんから、ぜひ合唱団をつくるべきだと励まされ、ともに歌う場をひろげるために結成に踏み切ったものです。

合唱を愛される方、みんなとのつながりを深めたい方、一人でも多く熱心な方々がお集まり下さるよう、お待ちしております。同封のはがきにてお申し込み下さい。

合唱団運営方針・案

- ・練習日 毎週一回（曜日未定）夕刻
- ・練習場 旭丘高校音楽室（当初）
- ・指揮者 水野俊彦君（六）Ⅱ予定Ⅱ
- ・団員 ヴォーカライズ会員あるいは A K C 出身者というワケは設けません。どなたでもけっこうです。ただし団員が 20 名に達しない場合は、発足を中止します。
- ・会費 団員数により決定します。ヴォーカライズとは離れて単独運営方式をとる予定です。

返送はがきのこと

今月も「コーラス用はがき」を同封しました。あれだけ委員のみんなが「はがきを送り返してほしい」と望み、会員の中からも「みんなが書いたものをみんなで読もう」という動きがあるくらいですから、今度こそ一〇〇パーセントの回収ができるものと期待しています。締切は二月二十八日です。お忘れなくご投函ねがいます。

今月のはがきには、コーラス欄のほかに、上記合唱団についてのアンケート（参・不参、練習日、会費）、ヴォーカライズの会費についてのみなさんのご意見、そして今月から始めた「みんな

会員たる者：必ず読んで下さい：委員会から

今年七月からの郵便料金値上げを控え、会費を値上げしなければならないのではないかとという意見と、在校生（高校在学中の者）の会費は値下げした方がよいのではないかという声が、いま委員会の内部にはあります。そこで、会員の皆さんは、どのくらいの会費を妥当とされるのか、ご意見をまとめることとし、今月のはがきに A から H までのプランを出しました。うち一つに〇印をつけてご返送下さい。

会費は安い方がいいけれど…さて

ヴォーカライズ・これからの予定は

- ▽招待席 C
 - ・3月 歌劇「リゴレット」
 - ・4月 イタリア国立放送合唱団（臨時）ニューヨークフィルハーモニーⅡ抽選にて招待Ⅱ
- ▽ヴォーカライズのつどい
 - ・3月（名古屋）新卒業生を励ます
- ▽「Vocalize」
 - ・52号 3月5日 会員近況
 - ・53号 4月1日 35年度決算号（P R 版）Ⅱ未定Ⅱ 年度内
 - 「A K C 資料集」(I)Ⅱ未定 年度内
- ▽36年度役員選挙投票
 - 四月一日～十日（郵送方式）

の歌」へのリクエストなどの欄が用意してあります。それぞれがこれらの事務運営上必要なことですので、これにもご記入下さい。

なお三月には「会員の声・委員の答え」（四月特集号用）のアンケート、四月には役員選挙投票およびコーラスはがきをそれぞれ実施することになっていきます。

「招待席 C」などの企画は、こうしたアンケートに協力して下さる方を優先して取り上げるようにしますので、この点あらかじめご了承を願っております。

返送はがきのこと

みんなの歌

Mamma

マン マ

C. A. Bixio 作曲

Mam-ma son tan- to fe- li- ce - per- che ri- tor-no da te -
 マ マ う た っ て く だ さ い - あ の こ も り う た を -

La mia can- zo- ne ti di- ce - ch'è il piu bel giorno per me -!
 む か し の と お り の - や さ し い こ え で -

Mam-ma son tan- to fe- li- ce - vi- ver lom- ta-no, per- che -?
 ま た あ う よ き ひ の - い の り を こ め て -

Mam- ma - so-lo per te la mia can- zo- ne vo- la - Mam-
 マ マ - わ た し の い の ち の - マ マ - マ

ma - sa-rai con me, tu non sa-rai piu so- la -! quan- to ti vo- gli-
 マ - い つ ま で も か わ ら な い で - ば ら い ろ の

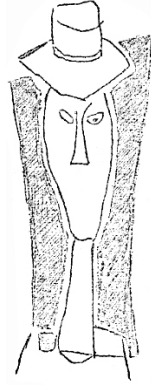
be- - ne - que- ste pa- ro- le d'a- mo- re - che ti so- spi- ra il mio
 か お に - ほ ほ え み を た た え - よ せ く る う き

cuo- re - for- se non s'u- sa- no piu - Mam- ma, - Ma la can-
 よ の - な み に も め げ ず - マ マ - わ た し

zo- ne mia piu be-lla sei, tu -! Sei, tu la vi- ta - e per la
 の こ こ ろ の う ち に - つ く し - く - い き て

coda
 vi- ta non ti la- scio mai piu -! Mam- ma sei tu -
 い て ね い つ ま で も -

51号に寄せて



松沢暢夫

私は、「Vocalize」50号を受け取って、封筒の今までにない重さに、大きな期待をもって開封した。然し、その半分が「ヴォーカライズ歌集」であったのはやや落胆した。いや、「歌集」に落胆したのではもちろんない。「Vocalize」がいつもとかわりばえのしない厚さであったことにはがっかりしたのである。

「50号に寄せる」とばに、あんなに一八〇度もヘソの曲ったことを書いた私も、実のところは浅井会長の今までの努力には少なからず感服している：というよりは驚いているし、50号に会員の多くが、たとえ一ページでも、いや半ページでも、何ものか一筆とるであらうという期待をもっていた。「そういうおまえだつて、何も書かなかつたじゃないか。何をえらそうなことをいつてるんだ」といわれることは覚悟の上である。それでも私は、あえて本文をつづろうと思う。以下は私自身に対する言葉でもある。

私は、会長より50号への執筆の依頼を受けた。しかし私は、考えるところあって、それを辞退した。50号という一つのタイミングは、今まで眠っていた大きな鉾脈を掘り起こすのに非常によい機会と考えたからである。そのとき私は、51号に書こうと、二つのことを頭に準備していた。その一つは、皆さんが読んでいただけるこの文章である。もう一つは、「盛りだくさんのVocalizeを読んでうれしかった」という内容のものである。：前者を書かねばならぬことは、私自身大いに残念である。

まず私は、会員諸君に叫びたい。彼に「協力」するな！と。「Vocalize」は浅井幸三私紙ではない」ということである。われわれ皆の、自分たちの会の機関紙なのである。彼の「ご協力願いたい」という言葉を、幾たびか紙面に見る。私はこの言葉が大きらいである。もちろん、彼を責めているのではない。考えていただきたい。「協力」とは何かを。彼の仕事をわれわれが手伝うなら、「協力」であろう。しかし、ヴォーカライズの運営は、そして本紙の発行は、彼の「ビジネス」ではない。われわれの会であり、われわれの会紙なのである。だから、筆をとり、あるいは印刷作業をしても、これは彼に協力したのではない。われわれ自身の仕事

をしただけである。もし、そういうことをして、彼に「協力した」と考える人がいたら、それは大きな誤りである。もしそう思うなら、それは今まで五年間、彼がわれわれのために貴重な時間をさいてまた私費を投じてまで本紙を発行してきたことを、当然のこのように考えている君が悪いのである。もしそれを当然と思う人は、一年でよい、彼の代わりにやってみるがよい。彼はわれわれの召使いではない。本会を組織する一因子にすぎない彼に「協力」するのではない。彼がわれわれのために労をさいてくれるのである。われわれは彼の好意にすぎるのはさしつかえない。しかし、今は度がすぎている。

次に、ハガキの問題である。そしてこれは一番大きな問題である。50号に見られるように返送されたハガキは、たった三分の一にすぎない。四十人もの人がハガキをホゴにしているのではないか。そのハガキを返送しなかったら、君はどんな得をするのか？ 第一、あのハガキをほかに使おうたつて使えない。たった五分の時間とわず一滴のインクを利用して近況を報告すれば、それはわれわれの会誌を飾り、会員皆が喜ぶのである。「時間がない」というのは口実にすぎない。ほんとうに時間がなければ、寝る時間を

五分減らせばよい。一月に五分くらい減らしても、決して死ぬようなことはない。私は医者ではないが保証する。私は、50号に「こんには」……「さようなら」と書いた横橋君に敬服する。あれだけでよい。あれだけで彼はりっぱに会員たるの資格を立証したのである。それだけを書く時間すらない人は「オッス」とだけ書いて出したら、一分もかかるまい。

第三に、上手な文章を書くこうとはいけない。われわれは文士ではない。うまく書けないのは当然なのである。自分は文章が下手だから……と、ひっこみ思案する要はさらさらない。すでに世に出た水野、桜山両君初め、今後とも会員の中から音楽家の現われる大きな可能性が用意され、あるいは半ば達成しかかっている。そんな彼等の演奏に対する賛辞可なり、また酷評可なりである。旅行の紀行文もよからう。われわれは今後大いに書いて書いて書きまわろうではないか。編集者が悲鳴をあげるぐらいに。

こんなえらそうなことを書いた手前、私も筆を心してとることをお約束する。諸君も約束してほしい。だれのためでもない。われわれ自身のためにである。「Vocalize」が浅井幸三個人の趣味で発

行されているのではないことを考えれば、だれだってハガキの投函の間ぐらいいいとってはいられないはずである。いや、たとえ彼の趣味でもよい。せめて自分の名前だけでも書いて返送するのが礼儀というものである。以上が、今まで大してわれわれのヴォ

・はがきに・
・拾う・



-前号掲載後-

……50号に寄せて……

谷 美保子（十四）

私は、他の学校へ転校して、初めて、旭丘がどんなによい学校かを知り、また、クラブ活動の楽しさを知りました。そして、私が旭丘のふんいきにひたることのできる唯一のヴォーカライズが、これから後もずっと続きますよう、祈っています。

……浅井会長のプロフィール……

音楽クラブに入って、ときどきお顔だけは拝見していましたが、いつの間にか、親しく話ができるようになっていました。いつも、お勤めをしながらよくお世話をして下さる方だと感心しています。

ーカライズのために力を出さなかった私、自分のことをタナにあげて、えらそうな口をきいた「51号に寄する言葉」である。会員諸君、われわれ自身のために大いにがんばろうではないか。50号にいただいた都築先生のお言葉を、われわれは大いに恥としなくてはならない。

今月の巻頭詩……

サトウハチローの「おかあさん」は、テレビ放送の「おかあさん」（東京TBS、名古屋CBC、大阪ABC、福岡RKBなど）の冒頭流される詩をまとめた詩集。詩集は売れない、読まれないという出版界の常識をひっくりかえしかねないほど、最近にない人気の詩集である。すべての社会の人の最大の共通語、それが「おかあさん」だとか。このサトウハチローの作品が好まれる理由も、やはりそこにある。その中から二編を載せた。

みんなの歌……

また「マンマ」も、すでにあまりにも有名な曲。日本ではアリゴ・ポラが歌ったのが最初らしいが、ペギー葉山のレパートリーに加わってから、がぜん一般ポピュラーファンにも親しまれた。また日本のテナー第一人者五十嵐喜芳の持ち歌でもある。こういう歌がイタリアでは軍歌としてうたわれたというから国柄の違いがわかる。推薦者は矢野委員。

招待席 **C**

海外公演での実力と自信を示す

NHK交響楽団（大阪）演奏会

（一月二十九日・フェスティバルホール）

一月（第33回）は大阪地区での招待席C。帰朝して初めての関西公演の幕をフェスティバルホールであけたNHK交響楽団を取り上げた。指揮はいうまでもなくウイルヘルム・シュヒター、ヴァイオリン独奏者に瀬田益子を迎えて、ウェーバー「歌劇オベロン序曲」、メンデルスゾーン「ヴァイオリン協奏曲ホ短調」、ブラームス「交響曲第一番ハ短調」のプログラム。

出席者は、当初予定していた藤井容子さん（旧姓増田）が都合で出席できなくなつたため、神戸の松沢暢夫さんにお忙しいところ大阪までおいでいただき、彼と同期の原まき子さんの二人、委員側は中尾桂二（在阪）の計三人であつた。

以下は、三人三様の当夜の感想、こぼれ話などの大特集版である。

参会者

招待者	原 まき子（六）
〃	松沢 暢夫（六）
編集部	中尾 桂二（七）

国内にも立派な演奏家がいる！

中尾 桂二

日本の芸術界、音楽界を代表して海外各地で好評をとどろかせた名プレーヤーたちが約百人、次々に舞台にあらわれると、さしもの広い舞台も狭いくらい。割れるような拍手に迎えられて速足でシュヒター登場。プログラムのトップを切つて、ウェーバーの「オベロン」序曲。きらびやかな管楽器群、流れるような弦のひびき。個性的で力強いシュヒターの指揮ぶり。海外巡業が相当実力と自信をつけたようだ。

二番目のメンデルスゾーンのヴァイオリンコンツェルトでは、潮田益子が若いながらも、非常に技巧的にもうまい、落ち着いた演奏をみせてくれた。第一楽章ではやや音程が狂って耳ざわりなこともあつたが、次第にスムーズな演奏で観客を魅了した。第一楽章の半ばで急に弦がゆるんで妙な音をたてるという珍しい事故があつたが、あわてず直ちに第一ヴァ

イオリン奏者とヴァイオリンをかえて演奏をつづけ、第三楽章にいたってはますます実力を出しきった力演ぶりに、演奏がおわると満場の大拍手を浴びた。シュヒターの協力もあつた。彼は、実際にはきれめなく演奏される第一楽章と第二楽章の間で一休みして、弦の音程を調整させる……というより、時間を与えて落ち着きを与えるという思いやりある態度で演奏がおわって彼女の肩をたたいている光景に、再び拍手の嵐がわいた。

最後のブラームスの交響曲第一番はこの日の圧巻であつた。NH響も今では世界的に有名なオーケストラの仲間入りをしているとの確信できるできばえ。レコードでも演奏会でも海外のものほど売れるようだが、日本人のこの悪い傾向をなおし、国内にりっぱな演奏家のあることを再認識する必要がある。

いずれにせよこの日、NH響がますます伸びていることを再認識した。このあと京都や名古屋で、同じメンバーが一部プログラムをかえておめみえするが、いろいろの称賛と批評が聞かれよう。しかし批判されるのは、みえっぱりで、エチケット知らずで、むやみに外国のものばかりほしがらる一部の観客であらう。

音楽たらしめる素質…潮田…

松沢 暢夫

実に久しぶりの音楽会であった。ここ五年間に行った全部の音楽会を思い出し得るであろうほど足が遠のいていた。とくにオーケストラは五年近く前、やはりN響の公演を名古屋の公会堂で聞いて以来、と記憶する。

当日はアンコールを含めて四曲、いずれもりっぱなできばえではあったが、とくにメンデルスゾーンの協奏曲とブラームスの交響曲とに深い印象を得た。

メンデルスゾーンの独奏者は桐朋高校三年の潮田益子嬢。ハイヒールの足取りがまだ何となく心もとないお嬢さんであるが、十八歳とは思えぬ堂々たる態度。(ただし足をひろげたままあいさつするのはどうもいたけない)演奏もしつかりしてなかなかりっぱであった。一つ一つの音がしつかり、はっきりして、その奏法からかなり勝ち気な気性と見た。時折、音程のおかしい場面があったが、それが一向苦にならない。彼女の解釈とテクニクがそれを完全にカバーしているのである。十分に「気分」を出した演奏に、われわれが引き込まれてしまう。

私は音楽というものはそれでよいのだとかねがね考えていたから、彼女の

演奏を聞いていて思わずうれしくなってしまった。音程もちろん大切であるが、しかし「気分」は何にもまして重要である。その曲に感情をふんだんに溶かし込んだ演奏は、音程やテンポが少々ずれていても、りっぱな音楽といえよう。それに反し、いかに音程が正しくても、いかにメトロノームと歩調が合っていても、無味乾燥なものは単に**音学**にすぎない。たとえばドン・コサック合唱団がそのよい例であろう。彼らの音程は時々狂うけれども、われわれを十分に満足させるのである。

話が横道にそれてしまったが、音程がやや狂っても、彼女の場合それを減点の対象にしたくない。ただし音色の美しくないのはぐあいが悪い。勇ましい奏法、堂々たる態度、おまけに音の悪いのまで、彼女の先輩である松岡三恵にそっくりである。しかし私は、若い彼女に大きな期待を持っている。時折、音程は狂うけれども、長いカデンツアの終りで寸分たりとも狂っていないかったのだから、彼女の音程は確かだともいえよう。彼女は音楽を音楽たらしめる多くの素質を持っているといえよう。あとは音をきれいにし、できれば音程も正確になるような勉強をしてくれれば、彼女はりっぱな音楽家となるう。**音学家**の多い世に貴重な存在、

と期待は大きい。

ブラームスの交響曲は、当夜最高のできであった。冒頭のティムパニーの単調なひびきが心にくいまでに印象的だった。そして一糸乱れぬ弦の合奏。世界でも一流楽団のうちに数えられようと思った私の耳はあまいだろうか。そして後半の弦のピチカットの演奏の美しさは、いまだに私の耳の奥に録音されているようだ。

さて、おしまいに当夜の演奏会で気づいたことなど二、三。

- ・フェスティバルホールの舞台は、普通の演奏会には広すぎる。百人近い大メンバーのN響が三、四十人しかいないようにみえるほどステージが広い。

- ・クラシックの聴衆はお行儀がよいこと。かしこまってすわっていて、セキ一つするにも大へんな気がね。そして雑音を入れた人の方をにらむご苦労な人。他人の心配までしていたら、せっかくの音楽が耳に入らないだろうに……。彼等は音苦愛好家。

- ・フェスティバルホールの悪いことども。ロビーの換気悪し。タバコの煙幕で一寸先も見えない。(これはちと大げさだな)ホール内に座席の案内図がないしドアにも指示がない。座席券にはGALLEYと書かずに**階上**と書くべし。われわれは日本人である。

清涼剤ークラシック

原 まき子

新春早々、招待席Cの招待状が舞い込み、どきまぎいたしました。と申しますより、私のようなサボリ屋に、突然N響のような音楽会を……と思うと、長い間クラシックから離れていた私を古巣へ戻す親心からのような気がしました。

私の遅刻は有名（ただし大阪支部において）なので、いまさら書く必要もないと思いますが、六時に梅田阪神百貨店内のフロインドに集合とのこと。当日お茶会だった私はおそくなり、お茶席より息を切らしてかけつけたのが六時十五分過ぎ。松沢、中尾のおふた方がホッペタをふくらしてお待ちかねでした。さんざんボヤかれて、平あやまりで会場へと急ぎました。

今年度N響関西公演第一夜の演奏曲目は、「オベロン」序曲、メンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲、ブラームスの一番の三曲で、有名な曲ばかりを聞き、長い間モダンジャズに親しんでいたためか、久々のクラシックは一種の清涼剤を与えられたようでした。中でもヴァイオリン協奏曲は私の大好きな曲の一つで、全体に流れる情熱

的な激しいメロディーと、少女の面影をピンクのカクテルドレスに身をつつみ、かもし出す音色にあらゆる力を注いでいるソリストの潮田益子さんの姿をながめてこの曲を耳にした日の思い出がよみがえってくるのでした。途中ヴァイオリンの弦がゆるみ、第一ヴァイオリンの方と楽器をかえて演奏されましたが、その不祥事にもあわてず落ち着いた態度は、十八歳の高校生には見えないほどでした。りっぱに他の方の楽器で演奏を終えたとき、満場激しい拍手が鳴りやみませんでした。あたかもソリストの落ち着いた態度と演奏をほめたたえるようでした。昨夜来遊びがすぎて、ネムイネムイと言っていたられたおふた方も、一生懸命に聞いていられたました。

音楽会は終り、中尾さんからは「ヴァイオリンについて何か書いてほしい」とのご依頼でしたが、オミアタマのおよろしいおふた方がついていらっしやるのに、私のようなアタマのウスイのがもつともらしく批評を書いたら、皆様に「アレで音楽を聞いているのかしら」と言われそうなので、批評らしきものはおふた方におまかせすることにして、私をご招待下さいました皆様にお礼を申し上げて、ペンをおかせていただきます。

招待席C
ユボレバナシ

◇：プログラム第一番に演奏された歌劇「オベロン」序曲は、当初予定の同じウェーバーの歌劇「オイリアンテ」序曲を変更したものの。（約束が違うぞー）

◇：このN響の切符を頼んだのは大阪のある財界人だった。おかげでB席としては最高の、二階正面B席第一列目だった。（浅井「この次からは招待席Bとします」）

◇：藤井容子さんは、多分新婚ホヤホヤで、日曜日夜の音楽会なんてマッピラごめんだったのかな。（独身者よ、ひがむなかれ！）

◇：原さんは待ち合わせの時刻に十数分遅刻。寒い阪神百貨店前で二人の男性のボヤクことしきり。…この次から遅れた人は晩めしをおごることに決定。（ハックシヨーン！）

◇：潮田益子さんの話 「とめ方が悪かったのね。一番高い弦がピクンと音をたてて下がってしまったんです。不思議に大阪では失敗するんです。二年前にもステージに出てスッテンとすべって転んでしまった。素知らぬ顔をして一曲ひき、帰りにはこんどは気をつけてと下を向いて注意して行っただけですが、同じ所でまたスッテンコロリ。曲の方は幸いうけて猛烈な拍手をうけたんですが、二度すべってるでしょう。でも断わりきれなくて、アンコールに出ていたらまたまた「転びのアンコール」。だからいまではクツ底に松ヤニをぬっています」 Ⅱこの項名タイより転載Ⅱ

C K交響楽団

名古屋演奏会

(2月3日・市公会堂)

招待席

二月の招待席Cは、前回の大阪組と歩調を合わせ、NHK交響楽団関西公演の最終日を名古屋市公会堂できいた。曲目は大阪と共通のメンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲のほか、チャイコフスキー「交響曲第五番・ホ短調」、ベルリオーズ「ベンベヌート・チェルリーニ」序曲。シュヒターの指揮、潮田益子のヴァイオリンである。

ききものはやはりチャイコフスキーだった。ベルリオーズでの力感あふれる美しさ、メンデルスゾーンのあざやかな流れなど、名実ともに日本最高のオーケストラたることを痛感させた。若手三人の参会者のほか、小川(七)、村田(七)、森本(十)、浅井(五)ら、例のごとくヴォーカライズの会員多数が顔を見せていた。

参会者

招待者	朝日 裕晶 (十四)
編集部	佐藤 征夫 (十四)
	伊藤真知子 (十四)

プロフィール

加藤久美子さん…。みんなは「久美子さん」と呼びます。(AKCにもヴォーカライズにも、不思議と加藤さんが多いせいもあるからでしょう。)その久美子さんは、とても意志が強いので有名です。一度やりはじめたら、たとえどんな障害があっても、きつとそれをやり通すのです。

久美子さんに初めて会った人は、なんと優しそうな人だろうと思われるでしょう。そして、だんだん親しくなればなるほど、その内にある朗らかな、人なつっこい性格を見出して好きになるでしょう。本年度の文化祭には女声トリオの伴奏をし、すなおで感受性の豊かな伴奏者と上級生にも評判のよかった久美子さんは、いま発声練習のピアノを受け持っています。積極的にクラブのために尽くしているのも、責任感が強いことのあらわれでしょう。

こう書いてくると、まじめ一方の人のようですが、なかなかどうして、多分には、ちやめつけもあります。一寸恥ずかしそうに、まぶしそうに人を見返すひとみには、静かさといわずらつげが同時に感じられるのです。またかわいいう癖もあります。「久美子さん」と呼ぶと、振り向いて、びつくりしたような表情で親指のツメを

バランスのとれたまじめさとちやめつけ

加藤 久美子 さん

かとう

くみこ

(15期)



かみながら、目をくるくるつとさせるのです。…一度、ためしにやってみて下さい。いっぺんに楽しい気持ちになります。昭和区の楽園町という静かな住宅街に家があります。近くには池があり、夏には弟の正司君と二人でボートの競争をするそうです。昨年五月の歓迎コンパのとき、久美子さんのじょうずなボートのこぎ方を見た人もいることでしょう。(まだ見たことのない人は、貸ボート料持参の上申し込んで下さい)

上品でスマートな久美子さんの一面を、この写真でとくにとごらんください。川名中学出身、昭和十九年五月二十三日生まれ。

プロフィール

「くちびるに歌を」という名言は、彼のために以前から用意されていたのではないだろうかと思うほど、彼は歌が好きである。ある雨の朝、一人の部員がバスに乗っていると、バスが停留所に止まったとき、陰気な雨を忘れさせるように「ブラームスのワルツ」が流れてきた。そして、次にはこの「ワルツ」が乗り込んできたのである。近くには乗客がアツケにとられていると、いな、その低音に魅了されていると、この部員の前で「ワルツ」がピタリとやんで「オス」といった。それは何と彼であったのだ。

彼は三十五年度の部長として大いに活躍した。クラブ内では最大の年中行事、文化祭を持ち前のフアイトで先頭に立って無事済ませ、また一方では、春の文化部対抗バレーボール大会においての音楽部初優勝の原動力となったのである。

こんな彼は、最近になって「高校時代は勉強ばかりではなく、大いに楽しまなくてはいかん」という。まさにその通りである。そしてその言葉を裏書きするかのごとく、最近の彼には「勉強」というヤツ以外には、すべてこれ楽しみのように見受けられる。

35年度AKC部長

佐藤 征夫 君

さとう いくお (14期)



彼の七つ道具に、ペン、紙などのほかにわすれてならないものにクシがある。これでもって、彼は常に鏡とニラメッコするのである。それだけオシャレにしても、ガール・フレンドがちっともできないのは、そばで見えていてもかわいそうではなかった。

こう書いてくると、彼は全くの陽性かつ楽天的であるかのごとく思われるであろうが、そうばかりではない。一面には天下を憂い、世を嘆くところもある。その証拠には、先日も二年浪人と間違えられたそうである。

最後に、彼はこの写真よりもズート好男子で、ズートスマートで、ズートトリこうそうであることをつけ加えておく。

Invention

○：予定よりずいぶん遅れたのでさては編集部員たちもB型ウイルスにやられたかな、と思った人もあるでしょう。何となくこういうぐあいになったので、予定どおりにはいかないとミソです。

○：大阪地区会員諸兄姉が、「招待席C」の感想をそろって寄せて下さったので、特集のようになりましたが、本来これが当然の企画であることを認識してもらうために（招待しても感想を書いてくれないのは憲法違反である）あえて掲載しました。

○：今月からアンケート、コーラスはがき、といったように波状攻撃が続きます。編集部と根気くらべのつもりで、じゃんじゃん返事を出して下さい。少なくとも昨年暮れのはがき回収で「やはりボクあてではだめかもしれない」と、森本副会長を嘆息させた二の舞いだけは…（そうでしょう？）

○：新企画「みんなの歌」を始めました。また合唱団創設も間近です。（新春の夢だから…と、ほんとうにしない人の多いのにはがっかりしましたが）いよいよ新生の時、がんばりましょう。

△今月の編集V伊藤（十四）矢野（十四）浅井（五）

1961.3.12 (日)

VOCALIZE

No 52

AKCヴォーカライズ機関紙

編集 浅井幸三

父

吉野 弘

何故 生まれねばならなかったか。

子供が それを父に問うことをせず

ひとり耐えつづけている間

父は きびしく無視されるだろう。

そうして 父は

耐えねばならないだろう。

子供が 彼の生を引受けようと

決意するときも なお

父は やさしく避けられているだろう。

父は そうして

やさしさにも耐えねばならないだろう

Vocalize <52号>

- ◇ ニュース……………2
- ◇ コーラス (会員近況) ……3
- ◇ ある日のこと……………5
- ◇ みんなの歌……………6
- 「愛の花」(まことの愛) ……6
- ◇ 編集をしない編集者のことば……………7
- ◇ プロファイル……………7
- ◇ プロファイル……………7
- 安田良江さん (六) ……7
- ◇ プロファイル……………8
- 矢野公子さん (十四) ……8

3月の演奏会 名古屋

◇クラシック ◆ポピュラー ■ステージ

◇中山悌一 (バリトン) 「冬の旅」独唱会

5日夜 文化講堂 (労音2月A)

◆ニコロとナポリクインテット公演

8日夜 市公会堂 (芸文)

◆No.1 ジャズ・パレード

ミュージック・メーカーズ、デューク・エイセス 9日夜 市公会堂 (友の会B)

◇植野豊子ヴァイオリン演奏会

11日夜 市公会堂 (労音A)

◇白樺合唱団 「ロシアの歌」演奏会

12日昼II夜 市公会堂 (労音B)

◆石井好子シャンソン・リサイタル

17日夜 市公会堂

◆ジャズの生命「ブルース」

八木正生クインテット、永田清嗣トリオ

18日夜19日昼 市公会堂 (労音C)

◇ジャック・カーナー マリンバ演奏会

21日夜 文化講堂 (ロータリー)

■歌劇「リゴレット」公演

五十嵐喜芳、栗林義信他、ニコラ・ルツ

チ指揮 東フィル

23,24日夜 市公会堂 (友の会A)

◇名古屋交響楽団演奏会

指揮 山田夏精 ピアノ 山岡優子

24日夜 文化講堂

◆ダークダックス リサイタル

31日夜 市公会堂



この欄はA K C関係者みんなの近況を知らせ合うためのものです。だれのことでも、どんなことでも、ぜひお知らせ下さい。

◇…毛利 豊君(五)の勤務先である日清製粉名古屋営業所の電話番号が変更になった。代表番号になり三月一日よりこれに切替えられる。新電話番号は次のとおり。

×××

◇…今年学業を終えられ、実社会へ就職される人のうちA K C関係者の就職先は次のようにきまった。

川村朋子(十三) 安田火災

志水照代(十三) 富士製鉄

力石美保(十三) 市吏員

鈴木洋子(十三) 東京銀行

このうち川村さんと志水さんはヴォーカライズ会員である。

◇…永井 充君(八)は旭丘の修学旅行に同行する予定であったが、都合で同行しないことになった。

◇…旭丘高校では三月一日に本年度卒業式を行った。当日の中日夕刊にはその写真が掲載された。二年生は九日から修学旅行に出発し、中国四国地方をまわる。

◇…若林延昌君(五)は三月二日名古屋に帰られた。名古屋には四月十日まで滞在し、この間幸声会に参加して、学芸大学の音楽部発表会(三月十日)に賛助出演の予定である。

◇…浅井幸三君(五)は三月二日夜おそく福岡へ出張した。福岡には十二日まで滞在し、プロ野球関係の仕事にあたる予定である。帰りは大阪で一泊し、名古屋には十四日午後帰られるはず。

◇…三月三日までに回収されたはがきから、会費についてのアンケートの部分のみ集計してみると次のようになる。

A (卒 200 在 200) : 5 票
B (卒 200 在 100) : 0 票
C (卒 200 在 150) : 3 票
D (卒 250 在 100) : 0 票
E (卒 250 在 150) : 3 票
F (卒 300 在 100) : 3 票
G (卒 300 在 150) : 2 票
H (卒 300 在 200) : 7 票

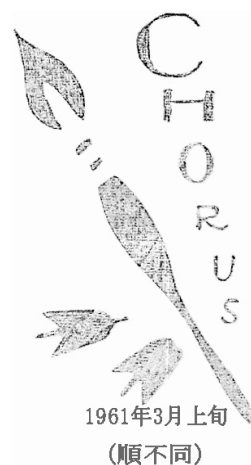
以上の他、卒 250 在 200 とするもの、卒 250 在 250 とするものが 2 票あり、必要なだけとつたらよいとするものが 2 票ある。この会費の問題は来年度のヴォーカライズの方針に、大きな影響をもつのであるべく多くの人達の御意見をお聞かせ願いたい。

今月の詩 父

Vocalize の第一ページには毎月毎月詩が載っている。これを読む分には良いのだが、いざここにどういう詩を載せようかということになると、浅井会長がいなると何ともならない。特に今月の編集者のような詩にてんで弱い連中が集まってお話にならない。やめてしまうわけにもいかなないので、みんながない知恵をしぼったげく、51号に「おふくろは」という詩が載ったのに、「おやじ」がなくては不公平だということになって、詩集をパラパラとめくってさがし出してきたのがこれである。だから、この詩については何の説明をすることも不可能である。

誕生日おめでとう (3月)

・三月八日	永井 充(八)	23 歳
・同 十二日	川村 朋子(十三)	18 歳
・同 十六日	中尾 桂二(七)	24 歳
・同 二十日	高橋 洋子(十二)	19 歳
・同 二十日	伊藤真知子(十四)	17 歳
・同 二十八日	水野 公子(十三)	18 歳
・同 三十日	磯貝 文江(十五)	16 歳
・同 三十一日	岡嶋 孝(十三)	18 歳



永井 充(八)
住みなれないせいか、ちよっぴり孤独！ 名古屋はますます大きくなるけれど今は流感らしく昨日よりダウン。三月よりはじまるのでそれまでに完全になおさないといけないので今日も休養。

愛商、明和、旭丘の修学旅行がつづいて三日から二週間は四国山陽の旅路です。

若林 延昌(五)
松沢君の意見に賛成！

小生三月二日～四月十日迄名古屋に滞在予定

水野 公子(十三)
昼間机に向かうということは実に忍耐力がある。南向きの暖かい部屋なのでついまぶたがとじてしまうの。

あと二十八日ガンバレと決心あらたに一心ふらん。

平山 葉子(十四)

足にやけどをしてしまいました。一カ月たった今もまだ包帯のとれないありさです。

やかんのお湯をこぼすという不注意でとりかえしのつかないくらぬことをしたものだと後悔しています。

どうかヴォーカライズの皆様、充分御注意下さい。

園部 靖子(十)

一ヶ月余りネテクラシテいます。

目下試験で大いによわっているところで。一ヶ月もねているなんて！健康ってほんとにアリガタイものですね。

あまりいろいろなことを考えたりできないので…。

本でもどっさりよめる位の病気だといのですが、がっかりしています。

本当に元気な人がうらやましいです。

安田 良江(六)

いつも同じく朝八時に家を出て四十分後に会社へ入ります。机に向かうのは九

時～九時半で十二時になったら昼食をして一時になったら仕事を始め五時に仕事を止めて会社を出ます。そしてマッスグに家へ帰ります。モグラのように、地上には出なくて地下鉄にて。

ですから地上の事は何もわかりません。そんな毎日のくりかえしです。

高橋 昭弘(十三)

意外にノンビリしています。

でもノンビリしているのは動作の方であって心の中はザンワリ(?)しているのです。

たまに「ぎたあ」をとりだしてギタギタとひきますが、早く気がねなく大声を出したいと思っています。そんな折も折、ヴォーカライズ合唱団が今から楽しみです。

○受かった時の予定

ウキウキと心も軽く、ウサを晴らしにどこかへ出かける。

○スベッタ時の予定

スゴスゴと心も重く、悲しみの心をいやしにどこかへ出かける。

横橋 貞雄(十二)

「東京地区の今後の活動に御期待を乞う」

鈴木 道郎 (十二)

今日で、僕のこの一年もオシマイになります。永いようでもちっとも永くなかった一年。明日は美事な往生振りをお目にかけましょう。

加藤幽香子 (五)

先日、西山住宅のマッさんコーラスをのぞいたら、水野さんが少しテレた様な顔をしてコーラスの指導をしていました。

実のところ、彼がどんな顔をしてやっているのか、わざわざ見に行っただけです。

十年の月日を感じました。

一号室のボロピアノを叩いて、他人の背中にスリッパの型を押し当てたり、ボール紙の壁に穴をあけたりしていた三人組の一人である彼がです。大勢のヲバチャンを前に堂々としやべっているのですからね。

森本 進 (十)

二月二五日私達の男声合唱団は南山メールクワイヤー岡崎エコー混声合唱団と交歓合唱会をしました。第一回としてはまあ成功した方でしょうが、決算はどうやら赤い字でかかれそうです。

この会のため試験の終った翌日から合

宿(六日間)をしました。泊った場所が悪く流感にかかってしまった人が多くてマイナスでした。

三月十八日に定期演奏会をします。『合唱界』に志水脩氏がやたらと定期という言葉はつかっちゃいけないというような事をかいておりましたが、定期という言葉をとっちゃうと何となく言葉のゴロが悪いし、みせかけがよくないし(内容は悪いからみせかけがよくするのはないぞ。内容はしごく立派である。ミリシタネ)とにかく定期という言葉はつけました。でもプログラムの表紙は演奏会とだけかいてあります。ホントのことを云うとここにも定期とかくつもりであったのを忘れちゃったためです。ともかくこの演奏会のため三月十三日からまた合宿します。合宿はおもしろいけど、朝から晩まで歌っていると、つかれるし腹がへるし、あまりウマイ物はたべさせてくれないし、男ばかりだし、あまりいいことはないね。

林 茂樹 (十三)

新参加者のノッパです。今夕もホッと一息マンジュをパクつきながら「スケーターワルツ」や「金と銀」

を聴いているところ。

入試もせまり、神と仏と先生にどうぞどうぞ合格させてチヨと祈るばかり。

船木 弥子 (七)

三月三日、二年ぶりに帰名します。久しぶりに見る名古屋はどんなに発展しているだろうかと今から楽しみにしています。

長く滞在できるのでしたらヴォーカライズの皆様にお会いしたいと思いました。が六日には帰らねばなりませんので、ほんの一部の方しかお会いできないのが何より残念です。十ヶ月の坊やにとつては汽車にとじ込められてゆく事など甚だ迷惑なことでしょうが、ママすなわち私はもうワクワクしています。

服部 修 (十二)

三月一日より十日間自動車部の合宿、四月は自動車にのって伊豆半島を十日位豪遊？

実は金三万円のボロ自動車と寝袋とお金を少々もつてあとはどうにかなるだろうという計画。交通事故で死んだら香典をよろしく。南無阿弥陀仏！… ちよつと虫がよすぎるかな。

ある日のこと

平山葉子

小学校へ登る二年ほど前のある日のことを私はよく思い出す。

「おやつちようだいよー。」などといっていたのだから、私にもかわいらし時代があったのだなあと少々今の自分が憎らしくなる。

それはともかく東京の目黒に住んでいた頃のこと。家の前の坂を下るとすぐ井之頭線のガードがあった。その井之頭線にはいつも何本もの電車が走っているのだが、その日に限って朝からさっぱり走っていなかった。

そしていてたぐさんの人が、線路の上を歩いて行くのだ。我ながら不思議に思ってから後で母に聞くと、台風で都内の電車がほとんど休んでいるとか。成程線路の上を歩いて行けば、どんなに遠くても、間違いなく目的地に着くなあと感心さえしたものだ。

その日の夕方、サイレンの音がしきりになって騒がしいので外に出て見ると、ガード下の道に一人の男が、ちょうど道と直角にお行儀よくねているのだ。もうその時は死んでいたらしいが。その人は例の線路を歩いていて突風にやられて落ちたのだそうだ。おまわりさ

んたちが、ぞろぞろいるのに、死体はこもかぶせられないままになっていた。

そのうちにそばに車が止まり、二人の女の人と私よりちょっと大きい位の男の子が降りてきた。女の人達は（一人はまだ高校生位でしたが）二人共顔にハンカチをあててたいそう泣いていた。私がその人達やあたりの様子が非常にめずらしくてキョロキョロしていたのと同じで、その男の子もあたりをキョロキョロ見まわしていた。

その家族の人達は警官の質問に、ぼつりぼつりと何か答えていたようだった。そのうちに死体も処理されて、人も一人・二人と減っていった。私もずいぶん長い間そこらにいたが日も暮れかかって、なんだか急にうす気味悪くなったので家へ帰ってしまった。家では相変らず母がまつ暗な土間でマキを割りながらお風呂をわかしていた。「ねえ、今表で人が死んでいたわ。」という「まあ！今までそんな所にいたの？いけませんねえ。」と：親切に教えてあげたつもりなのに、反対にしかられてしまい、大いに気分を害した。こんなことを思い出していると、六月の気候のようにじめつとした気分になる。それにしてもあれから十年とわずしか経っていないのにずいぶん時代が変わったものだ。

第一死体なんて今では一刻もその場所に置いておきはしない。それに電車が動かないからといって線路の上を歩く人など見たくとも見られないだろう。

今の人は先の口事先の事と考えて実にテンポが早い。戦後の物資不足で苦しんだにしても、テンポの遅い、よく言えばのんびりした時代に幼少を過すことのできたのは幸せだったとも思われる。（了）



もしも美しいまつ毛の下に、涙がふくらみたまるならばそれがあふれ出ぬように、強い勇気を持ってこらえよ。通る小道があるいは高くなり、あるいは低くなり正しい道の見窮め難いこの世のお前の旅路に於て、お前の歩みは確かに坦々たる物ではなからうが、しかし徳の力は、常に正しい方向へお前を前進せしめるだろう。（手記）

みんなの歌

愛の花

F. Kuchen
大久保 正 編曲
中野 節二 作詞

Moderato
p dolce

cresc. dim.

cresc. dim.

mp cresc.

p

1 きき 1 きく ひか りと ゐる あき いの か い な
2 きき よき くか りと ゐる あき いの か い な
3 きき よき くか りと ゐる あき いの か い な

わあ ねす もれ ふな るの うさ こう のみ よし
のや えし みし に や いち のち も え て
きよ みし のや えし みし に や いち のち も え て

とあ え わい のの さはう ちな にはん いとま く るし よえ
のの さはう ちな にはん いとま く るし よえ

今回の「みんなの歌」四部合唱にしました。AKC時代を
思い出して楽しくコーラスして下さい。



プロフィール

安田良江さんを一口でいうなら、じみで、あまり目立たない人、そして一度紹介されただけでは強烈な印象を残さない人：ということになるでしょう。ところが、少しつき合いがふくなり、やがて性格のみこめるようになると、何か事が起きる度に、きつとまっ先に思い出される人になるはず。

ヴォーカライズへの返り咲きがおそかったことや、軽妙な文章で人の目を集めるという人ではないことなどから、とくに下級の人には知られていない人ですが、事務面の仕事をさせれば安心してまかせておけること、友人の相談によく乗ってくれることを知らぬ同輩はいないはず。いまの勤め先である日本チタンへも、そうした安田さんの誠実な仕事ぶりと有能さが買われ、とくに懇請されて入社したものです。卒業後、二度、三度と職をかわったのも、だから「放浪癖」のゆえではないのです。

反骨の精神にも富んでいて、AKCでも、二年生までは反主流派の有力者として鳴らしたものでした。それが最上級生になったとたんに、こんどは下級生の苦情をきかされたりなため役に

回されたり、「変われば変わるもの」と自分でもあきれていたほどでした。

若さ、はつらつき、都会的ふんいき、近代的なセンス：そうした明るさは、たしかにこの人には少ないかもしれませんが、むしろ、学校時代から「おとな」を感じさせる人でした。背は高くなく、太りぎみのからだを重そうに運ぶ歩き方で、笑い方、話し方：どうしてこう人目に立たぬようふるまうのか不思議なくらいですが、でも、その大きなひとみは、いつもキラキラと光っています。心の強さ、不屈さを思わせる輝きを持っているのです。「この人の目はこわいなア」と、その昔、若き浅井会長をして嘆ぜしめたものです。昭和十年一月二十二日生れ、振甫中学の出身です。

事務面では絶対の腕さき

安田 良江 さん

やす だ よし え

(6期)



編集をしない編集者のことば

◇：二月二十八日朝、ぼくは東京から名古屋に帰りました。発行日が間近い「Vocalize」に少しばかりのフアイトをかり立てて、ピッチをあげて編集に着手するつもりでした。

◇：三月一日夕、急に部長から「福岡への出張」を命ぜられたのです。さあ大変、わずか十日間でも名古屋にいられないとなると、私事大いに多忙なるぼくとしては、あわてざるを得ないのです。

◇：フイにした音楽会が四つ、公、私、半公の会議が三つ。そして「Vocalize」：一日夜おそくまでかかって、森本、永井両君に後事を託すべく話し合ったのでした。

◇：あげくが二日も朝から勤務、出発はその日の午後十一時二十分の「あさかぜ」でした。そして、雨とともに三月三日（ヒナ祭り）昼、博多入りしました。これで十四日夕方までは名古屋に帰れません。

◇：というわけで、今度こそ「Vocalize」にはノータッチ、52号目にして、初めて一般会員と同じ立場でその発行を待つ身となりました。うれしくてうれしくて…。いま、ソワソワニヤニヤしています。

(あさい)

プロフィール

びりびりと反応を示してくれる人と話している時ほど、気分のそう快なことはありませんね。このびりびりとした反応を示してくれる人、そうです。矢野公子さんの名が浮かんできます。

彼女は今ヴォーカライズの在校生委員として、音楽部とヴォーカライズをより密接にしてくれる唯一の人物です。

部室でピアノに向かって、「うたのつばさ」にあこがれのせて……と歌っているのはきくと彼女でしょう。それほどメンデルスゾーンの『歌のつばさ』

がお好きなようです。こんな音楽好きの彼女は、音楽部ではピアノ伴奏をするなど、かけの力となつてクラブの発展に貢献しています。又、文化祭では、オペレッタで小道具、衣裳といったやつかいな仕事を一手にひき受けるかわら、特に難役である老婆をみごとにこなし、大好評を得ています。

普段はあのリンゴのようにつやのあるホッペタが、試験シーズンともなると少し色あせてみえるようになってしまします。こんなところにも、彼女の猛烈なファイターぶりがのぞいているようで、身のひきしまるような思いがするのです。こういうように書くのと、彼女はこちんこちんのファイトのかた

卒業生と在校生のかけはし

矢野 公子さん

や の きみ こ

(14期委員)



まりのような人物になつてしまっていますが、どうして、どうして、少し話しているだけでとても親しみを感ずますし、その上彼女は相手の気持ちをよく察してくるから、何でもさらけ出して話すことができるのです。

彼女は「なんでも経験が第一だわ」とよくいいます。その言葉のとおり、いろいろなことを進んで経験してゆき、その経験の中から知識を得てゆく人です。この点は見習うべきところですね。

こんな彼女の大きな願望、それは「なんでも相談できるお兄さんがほしい」ということです。ヴォーカライズのお兄様方、この言葉を心にお留め下さい。

Invention

○：浅井会長の突然の出張のため編集部は大混乱、一体どうしたらよいのかと、あとに残ったあまりたよりにならない連中が相談した結果、休むのはどうもシヤクだからというので、でつちあげたのが本号である。ここが我等のウデの見せどころ、浅井会長に出来て、我等に出来ぬはずはあるメエとばかり大いに張り切ったのであるが、原稿がそんなにある訳ではないし、結局は急の間に合わせ版になつてしまった。

○：コーラスはがきの回収率はあいかわらずよくない。どういうわけか在校生側の方が、たくさんあつまった。早くしめきつたせいもあるかもしれないが、まだ出してない方は至急投函していただきたい。

○：しかし、このコーラスがあつたので、我々はずいぶん助かった。もしこれがなかったら、とても8ページにはならなかっただろうし、悪くすれば休刊になったかもしれない。

○：前記のような理由で今月は印刷者が変わっており、しかもページによって字体がちがっていてまことに申し訳ないが、会長の手を、煩わさずに作った意義だけでも読めていただければ幸いである。

伊藤・川村・神藤・森本

1961.4.5 (水)

VOCALIZE

No. 53

AKC ヴォーカライズ機関紙 編集 浅井幸三

AKCヴォーカライズ

4月の行事

◇「みんなのつどい」開催

四月十五日(土) PM5時・旭丘高校
ヴォーカライズ合唱団発足

◇以上 4ページをくらんくください
◇三十六年度役員選挙投票

四月五日・十二日(郵送による)
◇2ページをくらんくください

◇会費(年額)三〇〇円・二〇〇円に改正
三十六年度より実施します

◇5ページをくらんくください
◇抽選により演奏会へご招待

◇2ページおよび
4ページをくらんくください

Vocalize <53号>

昭和三十五年をかえりみてー	8
・編集委員座談会	11
・あすのために	3
・会員便覧(勤評書?)	16
・プロフィール掲載者一覧	18
・記事・行事・企画一覧	5
◇ニュース(進学先など)	6
◇コーラス(会員近況)	12
◇みんなの歌「静けき馬車」「豚飼い」	13
◇「私の修学旅行」(伊藤真知子)	14
◇「ベッドの中で」(永井充)	16
◇プロフィール佐々知子さん(七)	17
◇プロフィール伊藤真知子さん(十四)	17

4月の演奏会 名古屋

◇クラシック ◆ポピュラー ■ステージ

◇ノイエ・シュタット弦楽四重奏団演奏会

◇「日夜」中区役所ホール

◆スイングジャズとマンガミュージック
小野満とスイング・ビーバーズ、ハナ肇とクレイジ
ーキャッツ

◇8日昼夜 9日昼Ⅱ 市公会堂(労音C)
◇一九六〇年度音楽大学卒業生新人演奏会

◇10日夜 文化講堂
◇辻久子ヴァイオリン演奏会 管弦楽 大阪
フィルハーモニー、指揮 遠山信二

◇15日夜 16日昼 市公会堂(労音B)
◇水野与旨久琴演奏会 18日夜 文化講堂

◇ブランシュ・シールボム メッソソプラノ独唱会
◇20日夜 名鉄ホール

◆N響団員によるポップス・コンサート
◇2021日夜 市公会堂(友の会AB)

◆映画音楽とファンキージャズ 八城一夫カル
テット、笈田敏夫 22日夜 市公会堂(芸文)

◇現代音楽の夕べ △岩淵竜太郎 △松下修也 △田
村宏(兼氏原雄) 24日夜 文化講堂(労音A)

◇ライプチヒ・ゲバントハウス・オーケスト
ラ演奏会 指揮 フランツ・コンピツチ ユニー

◇24日夜 市公会堂
◇ジュリアード弦楽四重奏団演奏会

◇26日夜 文化講堂(ロータリー)
◇ニューヨーク・フィルハーモニー・オーケ
ストラ演奏会 指揮 レオナード・バーンステ

イン、ソプラノ ジャニー・トゥレル
◇29日夜 市公会堂

昭和三十六年度 役員選挙

告 示

昭和三十六年度役員選挙を、つぎのとおり行ないます。所定の用紙、方法で、必ずご投票ねがいます。

記

一、選任役員 十一名

会 長 (一名)

副会長 (二名) 以上全体投票

委 員 (八名) ブロック投票

東京・大阪支部委員を含む

一、投票方法

全会員名を記載した投票用紙(同封のはがき)に、つぎのように記入して、期日までに郵送してください。

・会長・副会長を全体から三名

○印を三人につけてください
・委員を自分のブロックから一名

△印を一人につけてください

一、投票締切

四月十二日(水)〓消印有効〓

以上

昭和三十六年四月二日

AKCヴォーカライズ

…投票のまえに…

投票方法について

…必ずご一読ください…

(1) 〓年度役員選挙の選挙権。被選挙権のある人は、〓年度の会員およびすでに〓年度からの入会を申し出られた人のみで、これらの人の名は、一括して投票用紙にしるしてあります。

(2) 投票は記名投票雄です。集計上及び後記特典の抽選にも必要ですので、あなたの名を必ず記入してから投票してください。

会長・副会長は名古屋地区の人を…

(3) 会長、副会長については、区別をつけずに三人に〇印をつけてください。得票数の順に会長一名、副会長二名を決定します。この役員は、名古屋地区に住む五十人(はがき裏面記載分)から選んでください。

東京・大阪支部員は五名を投票…

(4) 委員選出単位ブロックはつぎのとおりです。

名古屋A (5・6・7期)	〓人〓〓人〓
名古屋B (8・11期)	〓人〓〓人〓
名古屋C (12期)	〓人〓〓人〓
名古屋D (13期)	〓人〓〓人〓
旭丘E (14期)	〓人〓〓人〓
旭丘F (15期)	〓人〓〓人〓
東京G (東京在住者)	〓人
大阪H (関西在住者)	〓人

〓〓は、東京、大阪両地区在住者を含めた人員、つまり上の人数が被選挙人、下の人数は

選挙人を示します。(このブロック割りの氏名は、つぎのページの表を参考にしてください) △印で投票してください。

なお、東京、大阪両地区の会員の方は、支部委員のほか、あなたが名古屋にいた場合に含まれるブロックの委員についても投票できます。たとえば、大阪地区に六期の人は、大阪地区と名古屋Aの両ブロック委員を選挙するわけです。

(5) できるだけ、規定どおり四名〓東京、大阪支部会員は五名〓 (三名は会長、副会長として〇印、一〓二名はブロック委員として△印)を記入してください。そのうちの一部について棄権されるのはやむをえませんが、必要数以上に〇、△を記入すると無効になりますから、ご注意ください。

(6) この投票用紙は、三月二十五日現在の資料によって作成してありますが、近々に異動される向きについては、その後のブロックに含んであります。ご了承願います。

・ゲバントハウス

・ニューヨークフィル演奏会にご招待

今月は、役員選挙投票用紙と会員名簿作成用紙(chorus、アンケートを兼ねる)の二枚のはがきを同封してあります。この二枚とも返送してください。このうち、抽選により、ゲバントハウスオーケストラ演奏会、ニューヨークフィル演奏会に、それぞれ一名をご招待します。

詳細については4ページのお知らせをらんください。

AKC ヴォーカライズ 会 員 便 覧

…1961.3.31 作成…

期	氏 名	合 地区 唱 区 団	プロフィール 31 32 33 34 35	-会員・役員-	-CHORUS-
					44 48 50 52
5	浅井 幸三	○	50	◎◎◎◎◎	○ - ○ -
	加藤幽香子		40	・△△・	○ ○ ○
	毛利 豊		49	・・・・	○
	若林 延昌	○ 東	9	○ / / /	- ○ ○ ○
6	足立 孝子		44	・ / /	○
	世古伊都子			・ / / /	○ ○
	原 まき子	大		・・・・	
	藤井 蓉子	大	33	・・・・	○ ○ ○
	松沢 暢夫	大	38	・・・・	○ ○ ○ ○
	水野 俊彦	○	25	・・・○ ○	
	安田 良江	○	52	・ / / /	✓ ○ ○
7	小川恵津子	東	48	-・・・	
	桜山 崇子	東	41	・・・▲	○ ○ ○
	佐々 知子		53	・・・	
	中尾 桂二	大	29	・○▲▲▲	○ ○ ○
	拝郷比呂子			- - - -	✓
	福岡二三子		45	・△・	
	船木 弥子	東		△・	○ ○
	村田 陽子		39	・・・△△	○
8	上前 佳子	○	11	・△・	✓
	永井 充	○	41	・・・	○ ○ ○ ○
	水野 令子	○	14	△・○	○ ○
9	石井よし子	東	13	・△・ /	✓
	上前昌三郎		32	・・・	
	金谷 京子	東		- - - ▲	
	竹内 英子	○		- - -	✓
10	大橋 佑子		50	-・・△	○
	千本木宣子	○	28	- /	○ ○ ✓
	園部 靖子	東		-・・	○ ○
	森本 進	○	34	-・△○ ○	○ ○ ○ ○
11	佐藤 治江			- - - -	✓ ✓
	東堂紀美子	東		- - -	○
	渡辺 義彦	大	27	- - △	○ ○ ○
12	石黒 録子	○		- - - -	- - - ✓
	泉谷美紗子	大		- - -	✓
	加藤 厚子	東		- - - -	- - -
	加藤千鶴子			- - -	○
	神藤 敏子	○	25	- - ・ / △	✓ ✓ ○ ✓
	小出 幸子	東		- - -	○ ○

期	氏 名	合 地区 唱 区 団	プロフィール 31 32 33 34 35	-会員・役員-	-CHORUS-
					44 48 50 52
12	鈴木 茂	大	30	- - ・・	○ ○ ○ ○
	鈴木 道郎	○	26	- - ・・	○ ○ ○ ○
	高橋 洋子	○	49	- - ・ /	- ✓
	服部 修	○		- - - -	- - - ○
	安井 邦夫	大	24	- - ・・	
	横橋 貞雄	○	44	- - △△	○ ✓ ○
13	岡嶋 孝	○		- - - -	- ✓
	川村 朋子		40	- - ・・△	✓ ○ ✓
	近藤 譲子			- - -	
	志水 照代		43	- - -	○ ○
	高橋 昭弘	○		- - - -	- ○ ○ ○
	野村 圭子			- - -	○
	林 茂樹	○		- - - -	- - - ○
	藤野 絢子	○	33	- - ・△	○ ○ ○
	増田 禮	○	30	- - △	✓
	水野 公子	○	26	- - ・	○ ○ ○
	安田 軍二	○	39	- - ・	✓ ○ ○
14	朝日 裕昌			- - - -	- -
	池谷 芳子			- - - -	✓
	伊藤真知子	○	53	- - -	✓ ✓
	佐藤 征夫		51	- - - -	- -
	谷 美保子	九	45	- - -	○ ○ ○ ○
	平山 葉子		48	- - - -	✓ ○ ○
	二井真智子	東	47	- - -	○ ○
	矢野 公子	○	52	- - - △	✓
	山崎満寿枝	東	46	- - -	
15	足立 靖子			- - - -	- - ✓
	磯貝 文江	○		- - - -	- - ○ ✓
	太田 岸子	○		- - - -	- - ✓ ○
	加藤久美子	○	51	- - - -	- - ✓ ✓
	内藤 毅			- - - -	- - -

[この表の見方]

I. (東)は東京地区、(大)は大阪地区、(九)は九州地区
 合唱団欄の○印は合唱団へ加入する人 (・印は未定)
 II. プロフィールは掲載号のナンバー
 III. 会員・役員らは、・が会員だった人、うち役員は◎会長、
 ○副会長、△委員、▲支部委員。/-は当時加入していない人
 IV. CHORUSらは、○がコーラスとして載った、✓は、はがきの
 返信があった人を示す。-は該当せず

「みんなのつどい」を開きます

A K C ヴォーカライズでは、合唱団設立を機に、名古屋地区全会員が一堂に会して交歓する「みんなのつどい」(36年度総会)をつぎのとおり催すことになりました。名古屋地区に住む位全会員諸兄諸氏はぜひご出席くださいますようお願いとともにご案内申し上げます。

記

とき 昭和36年四月十五日(土)

午後五時から八時三十分

ところ 旭丘高校 家庭科教室

かいひ いりません。(タダです)

お茶、お菓子、軽い夕食を用意する予定です。

れんらく 出席、欠席の連絡を、同封のはがきで四月十二までにお知らせください。

以上

昭和三十六年四月二日

A K C ヴォーカライズ

お好きなタイトルをどうぞ

上記のとおりヴォーカライズ始まって以来という、「会費のいらないうつどい」を開きます。多数のご参加をお待ちします。なお、「総会」とか「みんなのつどい」とかいふタイトルは気にいらぬ、とおっしゃる方は、つぎのものから適当に判断してお名づけ下さい。

- ・合唱団発足祝賀パーティー
- ・新卒業生の門出を励ます会
- ・浪人を慰め、志気を鼓舞する会
- ・カレーでも食いながら政治(ヴォーカライズの)を語るつどい
- ・新年度役員披露パーティー
- ・先輩。後輩に顔を売る集まり



キット読ンデネ・コノペえいハ

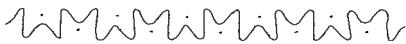


皆さんお待ち兼ねの「合唱団」は、四月十五日を設立総会に、いよいよ発足することになりました。合唱団参加の方は当日必ずご参集ねがいます。詳細は当日皆さんの話し合いによって決定したいと思いますが、現在のところつぎのように計画しています

- ・チーフリーダー 水野俊彦(六)
- ・マネージャー・、パトリリーダーは互選(副指揮者もきめる)
- ・練習 毎週一回(木、金、土いずれかの夕方より) 旭丘高校音楽室で
- ・会費 月五十円
- ・合唱団名(ヴォーカライズにとらわれな

い)を募集する

合唱団加入者へ



臨時「招待席C」

今月同封の二枚のはがきを記入返送された方の中から、抽選でつぎの演奏会にそれぞれ一名、よい合唱団名をお考えの方から一名をお招きします。

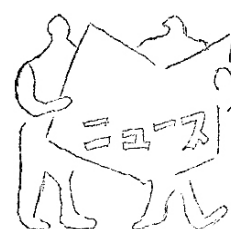
- ・ライブチヒ・ゲバントハウスオーケストラ 四月24日(月) 6:30・名市公会堂 投票者より一名
- ・ニューヨークファイルハーモニーオーケストラ 四月29日(土) 6:30 名市公会堂 投票者より一名

合唱団名当選者一名

東京、大阪地区の方が当選された場合は、別の機会にお招きします。

今月は二枚のはがきを同封してあります。一枚は、役員選挙用紙(詳細は2ページ) もう一枚は、新しく会員名簿をつくるための欄、コーラス用通信欄、そして、たまには角度の変わったアンケートをとという声にこたえ、「ヴォーカライズの61年度を占う」予想を皆さんに立てていただくための欄：というように用意してあります(総会の出欠連絡なども兼ねる)。いずれも締切は四月十二日です。時間的に余裕が少ないと思いますので、折り返しご投函ねがいます。万一日時がすぎても必ずご返送ください。

5円プラス五円・むだにしないで...



この欄はA K C関係者みんなの近況を知らせ合うためのものです。だれのことでも、どんなことでも、ぜひお知らせ下さい。

◇…村田陽子さん(七) 天神山幼稚園に勤めていたが、三月限りで退職した。これからは花嫁修業に専念される。

◇…永井 充君(八) 盲腸手術のため三月十八日夜、名古屋高岳町の棚橋病院に入院、順調な経過で二十六日退院した。

◇…A K C関係者のうち、新たに就職、進学先の決まった人たち。

高橋昭弘(十三) 名古屋大学文学部
安田軍二(十三) 名古屋大学経済学部

鈴木道郎(十二) 国立三重大学農学部
水野公子(十三) 愛知学芸大学音楽科

野村圭子(十三) 名古屋市立大学
増田 禮(十三) 名古屋女子短大

近藤譲子(十三) 岐阜大学農学部
藤野絢子(十三) 旭可鍛鉄

◇…渡辺義彦君(十二) 大阪大学 ころほど、止宿先をつぎのように変更。
豊中市上野×××

36年度より

会費 300 円 (卒業生) 200 円 (在校生) に

卒業生	在校生	票
a. 200・100	2	
b. 200・150	3	
c. 200・200	8(現行)	
d. 250・100	0	
e. 250・150	5	
f. 250・200	1	
g. 250・250	1	
h. 300・100	5	
i. 300・150	2	
j. 300・200	10(決定)	
k. 必要なだけ	3	

値上がりムードに便乗するわけでは
ありませんが、七月からも郵便料金の
値上げなど、外的事情の変化によ
り、このさい会費を卒業生三百円、
高校在校生二百円と改定、つどい開
催費、CHORUS はがき費に重点的
にあてることになりました。(年間予
算は下記のとおり) 皆さまにはご迷
惑をおかけしますが、あしからずご
了承ください。なお、さきに行なつ
た会費額についてのアンケートの結
果はつぎのとおりです。

小川卓爾旭丘高校長退職

旭丘高校校長小川卓爾氏(60) 小川恵
津子さんのお父さん 四月一日付の
愛知県教員異動を機に、勇退されるこ
とになった。昭和二十三年十月、旭丘
高校長に就任されてから十二年半、こ
の間、全国高校界でも屈指の校長と
して各方面に活躍され、生徒の信望も
厚かったので、その退職が惜しまれて
いる。

36年度予算

[収入]	
会費	
卒業生 (56)	16,800
在校生 (14)	2,800
[支出]	
Vocalize 発行費	
(12×70部×12円)	10,080
プロフィール写真補助費	
(200円×12号)	2,400
連絡用はがき費	
(6回×70×5円)	2,100
つどい開催費	3,000
年間予備費	2,000
	19,580

35年度決算

[収入]	11,400
会費	
卒業生 (54)	10,800
在校生 (6)	600
[支出]	
Vocalize 発行費・送料	
(11回)	6,095
歌集発行費	310
プロフィール写真補助費	1,200
連絡用はがき費	1,915
[差引残]	1,880
この残金は、4月15日の総会 費として充当します。(当日経 費は2500円を予定。)	

誕生日おめでとう (5月)

同	同	同	同	同	同	同	同	同	四月四日	世古伊都子(六)	26歳
同	同	同	同	同	同	同	同	同	四月四日	大橋 佑子(十)	22歳
同	同	同	同	同	同	同	同	同	四月四日	森本 進(十)	22歳
同	同	同	同	同	同	同	同	同	四月四日	横橋 貞雄(十二)	20歳
同	同	同	同	同	同	同	同	同	四月四日	佐藤 征夫(十四)	18歳
同	同	同	同	同	同	同	同	同	四月四日	鈴木 道郎(十二)	20歳
同	同	同	同	同	同	同	同	同	四月四日	園部 靖子(十)	22歳
同	同	同	同	同	同	同	同	同	四月四日	上前 佳子(八)	24歳
同	同	同	同	同	同	同	同	同	四月四日	高橋 昭弘(十三)	19歳

CHORUS



2月下旬～3月初旬
- 時間的ズレ
お許しねがいます -
＜順不同＞

松沢 暢夫 (六)

近況Ⅱ相変わらず忙しいけれど、二月二十五日夜から今シーズン初のスキーに行きます。もともと土曜の退社後（それがウチは四時なんです）出かけて、日曜の昼すぎまでコロンで帰ってくるという忙しさです。でも今シーズン最初にして多分最後のスキー、今から楽しみです。

予定Ⅱ近況のところにかいてもうた。宣伝Ⅱ古い伝統、最新の技術、日本の造船技術は、世界最高です。その技術をもって皆様の川崎重工業では、船のみならず、あらゆる機械が作られています。このたび名古屋にも出張所ができました。

演説Ⅱエー、オホン、アー、おしまい。etc.Ⅱ今シーズン、今までスキーに行かなかったのは、年末に野球をしていてネンザをしたため。

増田 容子 (六)

最近ハモることになっていきます。すばらしい混声合唱にありつきたいものです。AサヒガオカKライネルCオル時代、音楽室で一生懸命練習したのが十年前とは驚きです。

ヴォーカライズの会員をひとところに集めて大合唱を試みたら、さぞ気持ちよからうと思いますが、指揮をする人はさぞフルトメンクラウ（フルトベングラ）でしょうね。

中尾 桂二 (七)

テープレコーダーを物色していたところ、ビクターが最近発売したステレオで円盤録音のできるのがあったのでさっそく購入。会社の音楽部からステレオのレコードをたくさん借りて朝に晩に楽しんでいきます。そのために睡眠時間と映画を見る時間がだいぶ少なくなりました。先日もしチャイコフスキーの第五を聞いていて眠ってしまった、朝の四時までレコードだけクルクル回っていたようなありさま。寮の小さな部屋はこれですますます狭くなりました。ムコ入り道具はだいぶとありました。一向相手がなく、そろそろヴォーカライズに「求花嫁」の広告でも出しますかな。

渡辺 義彦 (十一)

この一年どうして生きていたのやら。合唱団のマネージャーをやったりして比較的忙しく過ぎ去ってしまったが、頭はカラッポ。神経がくたびれただけだった。無能なる者は無能に安住しているのが無事らしい。どっちかというと、いやいやながら動きまわった一年だった。参月中旬にはまた帰阪して、新入の女の子をめぐって、もう一つの混声合唱団と白熱の戦いをひろげねばならぬ。ああ人生くらえ！ 良寛和尚はきつとなまけものだったに違いない。うまくやりやがった。

谷 美保子 (十四)

一つとっても残念なこと。ヴォーカライズの会員であるのに遠方にいるために招待席に招待されないことです。飛行機が安ければ行くのですがね。ついでにもう一つグチを。私たちの学校は、修学旅行のかわりに春休み中補習です。なんといっても悔やまれてなりません。

鈴木 茂 (十二)

元気である。

二井真智子(十四)

いよいよヴォーカライズ合唱団の結成の準備を進めているそうですね。でも私は東京に住んでいるので、これに加入できなくてとっても残念です。名古屋にいればまっ先に加入するのに。出も、8号によりますと、この合唱団も全国的になるそうですから、その日がくるまで待っています。

安田 軍二(十三)

高校生活ともお別れ。もうこれでの先生にもこの先生にも教室で教えてもらうこともないのか……と思うと、心なき身にもあわれはちよつぷりと知られる。

それよりも、三年間の音楽部生活を通じて知り合った同輩で、もう親しく言葉もかわせられない人がきつというだろうと思うとき、いまさらのように楽しかった音楽部生活が思い出される。でもきつとほとんどの人と、このヴォーカライズという機関で会えると思う。こう考えるときくらい、ヴォーカライズの存在のありがたさが身にしみて感じられるときはない。三年生諸君！ヴォーカライズを通して、今まで以上に一そう親密になろう。

水野 令子(八)

日ざしがポカポカと暖かくなり、今まではストーブの前にかじりついていましたのに、現金なもの、じつとしていられなくなり、昼休みなど散歩に出かけたくなります。

先日も食料品をかかえ込んで、歩いて、八分のところにある徳川園へと足をのばしました。が、緑は燃えるように、といていたのですが、芝生はまだ冬の姿をとどめていて、無理やりにねそべった私たちのからだにひっこくまつわりつき、さて昼からお仕事をしなくてはなりませんので、大弱りました。人からみればルンペンスタイルではありませんが、とっても気持ちいいものではありませんが、とっても気持ちよく、お昼からの仕事の能率をたかめます。それに適度の日光浴は美容上大切ですものね。

太田 岸子(十五)

先日の子饞会に木琴独奏をしました。曲目は「ラ・クンパルシータ」と「天国と地獄」文化祭のときにはマイクを使用しなかったもので、今度もマイクをお断りしたら、「聞こえない、聞こえない」とやじが飛び、ちよつとがっかり。それでも二曲目からマイクをつけたら、よかった

らしくアンコール。それで無伴奏で「荒城の月変奏曲」を演奏しました。

磯貝 文江(十五)

後期生徒会集會常任委員会の一員となつて以来、クラブの出席低下じつにはなはだしく、なんと今日まで二日というぐあいです。みんなからは文句の多い集會常任委員会でこまねずみのようにこきつかわれ、四月からクラブに出席してもはたして歌がうたえるか疑問です。私の気持ちもお察し下さい。

藤野 絢子(十三)

想像どおりみごとにすべりました。覚悟はしていましたが、やはりショックでした。さっそく就職にきりかえ、超スピードで決定し一息ついたところです。旭可鍛で、日本碍子の子会社です。ここからは新しい生活に飛び込んで社会見学をするつもりです。職場のようも、また暇を見つけて書くことにします。「ほんとうの勉強はこれから始まる」んだそうです。最初のお給料、何に使おうかなと、今から楽しみです。

座談会

編集部員「Vocalize」を語る

…あまりいい点はつけられないけど…

「ヴォーカライズのための機関紙か、機関紙のためのヴォーカライズか」と、何かといえはすぐ矢面に立たされる

「Vocalize」も、すでに53号。三十五年度は、いろいろと内容、陣容に変化があったが、さて会員の皆さんはどう評価されたであろうか。

だれにもまして熱心な読者…この一年、「Vocalize」の編集に携わってきた三人が、編集者として、また読者として、あれこれ語った「採点会議」の模様をおしらせしよう。

(三月二十八日午後、浅井会長宅での第53号編集会議の席で話し合ったもの)

浅井幸三(五) 編集長

長年の編集活動ですでおなじみ、雑報記事もすべて担当のよろず屋。

森本 進(十) 50.52号編集長

編集次長格で、35年度は二度も編集を担当、得意は音楽記事。

伊藤真知子(十四) 編集専任部員

浅井編集長に口説き落とされて後期より参加、記者的センス十分で未来の編集長として囑望される。

…第一面はかざりもの

浅井 きまりものから話そう。

伊藤 一番つまらないのは詩の感想。

森本 好きな人はいいかも知れぬけれど、書かされる身になったら、えらい負担だよ。

浅井 「私の好きな詩」ってのは無理だったね。詩を好きな人はいないのかな。森本 童謡の方がいいと思う。唱歌でもいい。

伊藤 一面は素通りです。みんなそうじゃないかと思う。

浅井 演奏会案内も……？

森本 ぼくは提案者だから、見ている。伊藤 見るんだけど、遅れるから半分くらい終わっている。(笑い) 半分は来月のにすればいい。

浅井 読む人は少なくとも、一面は或る程度飾りたいなものでね。

森本 表紙だと思えばいい。

伊藤 詩の下へカットを入れたらいいと思うんだけど。

浅井 できれば、それがいい。だれがカットを書くか、ということになると…。(笑い)

…ニュースを書くのも一苦勞

浅井 ニュースは？

森本 いいね。だけど、一ページをニュースで埋めるのは苦勞するね。終わってしまつたのまで書いたり…。(笑い)

伊藤 コーラスと重なるものもあるし。

森本 あんなに少しのニュースで、一生懸命でつち上げるんだから、つらいね。

伊藤 もっと、みんながいろんなことを知らせてくれなければ…。

森本 AKCニュースを、という希望が多かつたでしょう？

浅井 ちよつと実現したね。

伊藤 だって、私たちも何も知らないから…。(笑い)

…CHORUSは少人数

浅井 最高の読みもの、コーラスは？

伊藤 いい。すごくいい。もっとふやした方がいい。

森本 年に六回(二月に一回)はやりたい。

浅井 三十六年度の予算ではそうなっている。

森本 うん。いまそれを見たから言ったんだ。(笑い)

浅井 コーラスも書いてくれる人が決まってしまったね。

伊藤 いつも同じ人ね。もつと違う人にも書いてもらって…。

浅井 会員勤務評定…つまり、何回コーラス欄に載ったか、という表を作ったよ。

森本 それを33号に載せよう。

伊藤 困るわ、私。出してないから。(笑い) 書くんだけど、空白があると、出すのがいやでね。

浅井 書いたが出すのを忘れた、机のひき出しにはいつていたとか、そういう人もいるらしい。

伊藤 私も…(笑い)

…つまらなくなつたプロフィール

浅井 これも、よく読まれているプロフィールは？

伊藤 このごろつまらない。だんだんつまらなくなっていく。

森本 私ごとを書くのはいかんと思う。ぼくは反対だね。もつと客観的な立場で書いてほしい。私的になりすぎたときは、筆者の名を入れるべきだ。

浅井 スタイルにはまりすぎている

のは確かだが、プロフィールとしては、個人的では困るね。

伊藤 二人目までは書ける。三人ものプロフィールを書こうと思うと、ほんとうにどうしようかと思う。書いている方がいいやになる。

浅井 そんなことないだろう。

伊藤 いつも、結局、趣味とかクラブ内でのその人の立場とか、そういうものを並べつただけになってしまう。

森本 33号の、浅井さんのプロフィール特集、あれ、文句がきた？ 反対だといって…。

浅井 いや、どうも30号では、あれが一番好評だったらしい。(笑い)

伊藤 ああいうのだったら、おもしろい。

浅井 大ぜいで書くっていうのはいいね。

伊藤 私がYさんのを書いたとき、余白に浅井さんが少し書いてくれたでしょう？ あれ、見方が違っていて、おもしろかった。

浅井 そいつを当てにして、はじめから短い原稿を持ってくる。(笑い) でも、最低二人では書きたいね。

森本 インタビュー形式にしたら？

浅井 これはスペースの問題になる。それに黙っている人もいるしね。

…招待席Cは廃止の方向に

浅井 ところで、問題の招待席…。あんなの全然読まない、音楽会の感想なんかつまらない、という人がいる。

伊藤 ほとんど、やったという報告だけでしよう。感想が載っていれば読む。

森本 ぼくは読むよ。魔笛の座談会、N響の感想、すっかり読んだ。よかったよ。

浅井 最近 みんながちつとも感想を書いてくれないから、招待席はもうやめろ、という意見も出ている。

森本 やめてもいいね。

浅井 しかし、招待席Cも看板行事の一つなんでね。

…松沢君のうまさ、おもしろさ

浅井 一般原稿は少なかったね。その中では、松沢君の「31号に寄せて」がうけた。

伊藤 おもしろかった。

浅井 松沢君は、いつもタイミングがいい。うまいよ。あれのおかげで、はがきが3枚戻った。これは新記録だね。(笑い)

森本 「続ほたる草」は、前の「ほたる草」の繰り返しみたいだ。ぼくは「ほたる草」だけでよかったと思う。続編はなくていい。

伊藤 山川真継さんってどういう人？

浅井 もちろん会員で、それはペンネーム。まだ発表できない。

…編集者か、会員か

浅井 ぼくが書きすぎるという声もある。

森本 しかたがない。

伊藤 半分はそうでしょう？

浅井 ぼくもあまり署名原稿は出したくない。でも「気弱く気強く…」が出て、ぼくの立場をわかってくれた人もいる。53号でも「福岡出張報告記」にしようか、「会長としてのこの一年の反省」にしようか、ということになって、弱るね。

伊藤 両方書いて下さい。

浅井 まさか。また文句がくるよ。

森本 「会長一年の反省」は毎年書いているじゃない。(笑い)

…会員の意見に答える

浅井 「みんなの歌」を別刷りにし

てほしいという希望がきてるが…。

伊藤 そうしたら、八ページ」埋まらない。

浅井 正直すぎる。(笑い)

森本 はがきに、印刷が悪い、というのが書いてあった。

浅井 その苦情は、実は毎年あるんだ。

森本 52号読めなかっただろうね。

伊藤 私のところへ送ってきたものも読めない。

浅井 (森本君に) 伊藤さんのところへはいいのを送ればよかったのに。(笑い)

森本 とにかく順に入れてしまったから。

浅井 だけど、いつもいくらかよけいに刷って、あまり悪いものは出さないようにしているんだから、全然だめなんてことはないはずだ。

森本 右側の空白を多くして、とじられるように、というのも、いまでも原紙がいつぱいだからむずかしい。

…座談会記事を多くしよう

森本 座談会や対談を載せるといい。

伊藤 座談会の原稿なら読みやすいし、みんなもおもしろいと思う。

浅井 ぼくも賛成だ。でも、それをや

るといつもぼくが書かなきゃならぬ。(笑い)

森本 招待席の原稿も、座談会の際の一番よかった。機関紙に一つも座談会が載らないというのは、読んでいてもおもしろくない。

伊藤 卒業した人の「クラブの思い出」もやりたい。

浅井 在校生向きだね。卒業生が読んでもおもしろいかどうか…。とにかく、カタイ記事は読んでくれない。53号は、あまり読んでもらえないのじゃないかな、お知らせ版みたいなものが多いから。

…52号の評判は

浅井 あなたたちのやってくれた52号だけど、「初めてにしてはよくできた。委員のみなさんによくやったといっておいでくれ」という人が多いよ。

森本 「初めてにしては…」でしよう？

伊藤 もうやらないから…。

浅井 しかし、それに続けて「だけど、やっぱり浅井さんの字の方がいい」というのだけはよけいだね。(笑い)

伊藤 永井さんの写真、いつも、とてもいい。ああいう写真、好きだわ。

ーおわりー

昭和 35 年度《この一年》あすのために

浅井会長にきく

：一口にいつて 35 年度の成果は？
 「功罪相半ばするといえは無難ですが、前半は失敗、後半は成功と私は見たいですね」
 ……というところ？
 「前期は二回の機関紙休刊、つどいの失敗、招待席も…というぐあいでも痛かったね。それが後期になると、まず委員の結束ができたこと、CHORUS も一月に一回やったし、機関紙、プロフィールも快調、合唱団結成の地歩も固まった。これは過去五年間

ある会員から

この数カ月、実に好調ですネ。「49 の次は 50」という当りまえの事を巧みに利用して、フンマンヤルカタナキ士を叫ばしめ、タイマンキワマリナキ仁（ゴメンナサイ）を奮起せしめた会長以下委員諸氏のウデは実にみごとなものですよ。そして我々も彼等のウデに感心してばかりいらねえなかったのです。叫んだ以上、奮起した以上、何かをせねばならなかったのです。（お気の毒様）しかし、図られたと言っても決して悪い気はしないの

です。決して後味の悪いものではないのです。爽快な、希望と自信に溢れた舌ざわり。我々の中に残ったものは実にこれだったのです。今こそ我々は、軌道に乗りかけた我々の活動を、我が A K C ヴォーカライズをいっそう盛んに、いっそう素晴らしなものに仕上げねばなりません！それにしてもナイスタイミングが続きました。A K C 音楽会、クリスマス、例年の事ながら、これらは「Vocalize」を休刊から脱出せしめ、そして 50 号発刊。これらに増して良かった？事は浅井会長の突然の出張。

最大の成果でしょう」
 ……好転のきっかけは何でしょう。
 「やはり、みんながヴォーカライズに愛着をいだき、盛り立ててくれる機運が生まれてきたからでしょうね。私が決して全知全能でもスーパーマン出もない音が、みんなにわかったからといった方が早いかもしれせん」
 ……じゃ、いまはいい気分でしょう？
 「そうはいきません。この空気は、まだ全体のものじゃないんですから…」
 ……この一年の功労者をひとつ。

我が「Vocalize」を、会長の手を煩わすことなく発行できた事は（ヘソマガリは別として）喜ぶべきでしょう。
 とにかく五年が過ぎました。それは永くもあり短くもありました。そしてその一瞬一瞬が試練だったのです。しかし、我々は今、立ち上がるうとしているのです。もう以前の様に弱くはないのです。合唱団設立も間近です。頑張ろう！我々のために。我が A K C ヴォーカライズのために！ A S V

「まず第一に若手委員たちです。森本、神藤、川村、矢野の各委員に、後半とくに依頼して加わってもらった伊藤、永井、鈴木道三部長、よく働いてくれました。ほかに中尾、松沢といった大阪勢、毎回必ずはがきを返送してくれた人たち、ちよつとあげきれませんね。私だって、功労者のうちでしょう？（笑い）」
 ……伝えられるところでは引退だそうですが…。
 「できればね。もう私ごとき老人が騒ぎ立てる時代じゃないでしょう。一般会員として随筆でも書きたいですよ」

みんなの歌

Swing Low, Sweet Chariot

静けき 馬車

アメリカ民謡 (黒人霊歌)
門馬 直衛 訳・編

Adagio

Swing low, sweet char- i- ot,- Com-in' for to carry me home, Swing low, sweet char- i- ot,-
しーず け き ばしやー さとおくり ゆ く しーず け き ばしやー

Comin' for to carry me home. - I look'd o-ver Jordan, and what did I see?- Com-in' for to carry me home? A
さとおくり ゆ く - な に み ゆるジョルダンな がれ こえて さとおくり ゆ く て

band of an- gels are com-in' af- ter me,- Com-in' for to car-ry me home. Swing low, sweet char- i- ot,-
ん- し む ら が りつづきてー さとおくり ゆ く しーず け き ばしやー

Com-in' for to carry me home, Swing low sweet char- i- ot,- Com-in for to carry me home.-
さとおくり ゆ く しーず け き ばしやー さとおくり ゆ く -

Swiniorz

豚飼 い

ポーランド民謡
池田 忠雄 訳・編

いづい かみ いが いと つき しけ わに しき すすき でし
あ い け か あ ち かい かい かい かい かい かい かい かい

かき った わし に し のぶ ーだ うか ちい へく うい ちへ
あ った に わ が ぶ の かい かい かい かい かい かい かい

いま ち き た あめ の ひ うき のき ひん ちん
ま ち かい った あめ の ひ うき のき ひん ちん

やか あま き た あめ の ひ うき のき ひん ちん
わ たい った あめ の ひ うき のき ひん ちん

ゆき の ひん や あめ の ひ うき のき ひん ちん
か い りん った あめ の ひ うき のき ひん ちん

招待席 C

栗林義信、帰国初舞台を飾る

音楽コンクール三十周年記念オペラ「リゴレット」

(三月二十四日・名古屋市公会堂)

三月(第35回)の招待席Cは、オペラ「リゴレット」三十五年度はオーケストラとオペラだけという招待席Cだったのは、とかく大物(?)を好む会員の希望によるもの。

イタリア帰りの栗林義信をリゴレットに、五十嵐喜芳、窪田江美子、山村深沙はじめ音楽コンクール出のそうそうたる若手メンバーで固めたうえ、原語での全幕上演という気の入れ方。

名古屋では久しぶりのオペラだというのに客席の入りは芳しからず、音協の動員数も限界がみえた感じ。しかし客席からの反響は(名古屋にしては珍しく)多く、さすがによく知られたオペラらしい強さをみせた。ヴォーカライズからも、例によって多数の顔が見られ、AKC出身者、いまに名古屋楽界に君臨しそうである。

参会者

招待者 太田 岸子(十五)
" 加藤久美子(十五)
編集部 矢野 公子(十四)

見劣りする女性陣:

オペラハウスの必要を痛感

歌劇というものを全く知らないしろとが、今回の「リゴレット」をどう見たか。大先輩のお兄さま、お姉さま方に笑われるのも役目上しかたなく、書いてみました。

まず、最初幕が上がったとき、なんと小さくて狭苦しいのだろうと、あらためて公会堂の小さいのを感じさせられました。そのうえ、ちょうど中央の通路わきの席でしたので、指揮者の大きな後ろ姿が真正面にあり、せっかくのすばらしい演技が見えなくなることもしばしば。

リゴレット(栗林義信)のボリウムのある、全くすばらしい声には、われを忘れる思いでした。少々声が若々しくて、私を持っていたリゴレットのイメージ(もう少し、すぎみがあると思っていました)とは、少し違った感じでしたが、細かい理屈は抜きにして、若手ナンバーワンとあらためて感じさせられました。

マントヴァ公(五十嵐喜芳)は、少し高い声になると、声が急に変わるのが気になりましたが、役になりきってしまつた、堂々とした歌い方には、独唱会とはまた異つた、すばらしさ、貫録を感じました。

それに比べて、女声は、演技では男声よりずっとすぐれていると思いましたが、音量が乏しく、重唱では、男声やオーケストラに負けてしまい、カン高い声が、ヒステリックに聞こえるばかりでした。

歌ではリゴレットの栗林義信、演技・歌の総合面ではマントヴァ公の五十嵐喜芳の両氏をあげたいと思います。

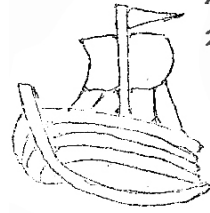
日本でも、オペラハウスが建てられ、現在の男声ほどの女声歌手がどしどしあらわれたら、どんなにすばらしいことでしょう。その日を楽しみに。(K・E)

みんなの歌

「静けき馬車」すでにご存じでしょう。高橋昭弘君(十三)がヴォーカライズ歌集のさいに次いで再度のリクエストをされたので、その根氣に負けました。

「豚飼い」昨春日本を訪れたマゾフシェ合唱舞踊団(ポーランド)が歌つた明るくて楽しい民謡。前の曲とガラリとふんいきを変えてお歌ください。

私の修学旅行



伊藤 真知子

大いに遊び、大いに歌い、大いに学び？ 大いに遊んだ修学旅行、正味九十三時間余りを、十分楽しんだ。車中では雪景色を見、船中、バスの中では雨景色を見、歩いているときは晴天と、まことにバラエティに富み、快適な旅行だった。「これはひとえに君たちの心がけがよかったおかげである」…先生曰く。

すばらしかった時：夕方小豆島へ着いた時、真つ赤な夕日に、あたりの雲がほの紅く染まり、真つ青な海に浮かぶ遠くの島々が、薄墨色に変わっていく…そんな時でした。(うまく形容できないのが残念なり)

よかった所：小豆島。
もう絶対です。スゴクステキな島です。ガイドさん曰く「新婚旅行には、またこの島へどうぞ」新婚旅行とはいいませんが、ほんとう

にもう一度行きたい島です。
楽しかった時：平山さん、矢野さんと船中で合唱した時。

あれは、屋島へ向かう時でした。広い？ 船中では、私たちの歌声を気にする人もいないので、大いに歌って感激していました。甲板で少し冷たすぎるくらいの風に吹かれながら、三人ともニコニコニコ。広々とどこまでも続いている真つ青な海に、自分たちの歌が流れていくなんて、ね、ステキでしょう？ 「合唱するって楽しいことだな」って、つくづく感じたひとときです。

いいなと思った折：栗林公園。

あまり整いすぎていていやなところもあったが、でも、名古屋にもあんなすばらしい公園があったらいいなと思う。

ノビそうだった時：こんぴら様へおまいりに行った時。

五百一、五百二…と、ため息をつきながら数えた石段が七百八十八段。正確には七百八十五段だそうだが、階段のような、階段でないものまで数えたため、私たちは他の人よりたくさん石段を登ったことになったんでしょね。

厳肅なる一時：原爆ドーム・原爆資料

館を見た時。

全く悲惨な情景ばかりです。数々の写真、被爆者たちの衣服、ケロイドのホルマリンづけ、ときどき鳴るいやなサイレン。急いで館から明るい外へ出たとき、思わずほっとしました。

哀しかった時：原爆病院へ千羽づるを持つていった時。

設備の完備した、りっぱな病院を想像していた私の前に現われたのは、みすばらしい、暗い感じの病院だった。二百人ほどの患者さんのうち、七十人くらいずつが、毎年なくなっていくかという。窓から顔を出された患者さんたちに手を振りながら何となく、心寂しくなるような気がした。

学んだ事：トラランプ。いろいろなゲーム。

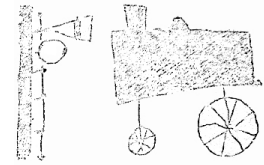
楽しかった事：いっぱい書ききれないほど。

つらかった事：なし。
悲しかった事：なし。

まだ、いろいろな、「時」や「事」がいっぱいありますが、おもなものを拾ってみると、私の修学旅行はこんなものでした。

ベッドの中で

- 書きました -



ナガイ ミツル

クツを脱ぎ足をなげ出す。上衣のたれさがった窓側に頭をもたせかけ、外を見るでもなく見る。隣があいているとゴロリツと横になる。あおむけになったときなどは、足をまげたりのばしたり、通路を横切ってしゃ断機の役目を勝手に始める。私のからだは、どうやっても苦痛を感じずにはいられないらしい。時計を見るとまだ一時間もたっていない。

でも汽車はたよりになる。多少のおくれはあっても、今までのところはいつも、無事に私を目的の場所に運んでくれた。

八時間の旅、私ばかりが辛抱強く耐えている。あと七時間……。「心配しなくてもいいんですよ。時計はちゃんと動いています。長い針さえ七回まわれば」乗りさえすれば八時間！ これで私は悟りの境地の顔になる。生むがやすし、乗るがやすし、盲腸は切るがやすし

上をむいたまま動かない。自分の重みでオシリの鑄型がフトンにできる。切り口よりも腰の方が痛い痛い。まだまる一日もたっていない。でも、きょうは抜糸、あす退院とまでこぎつけた。八日間、二百時間のベッドの上。盲腸よサラバ、ミツルに幸多かれと祈るのみ。ラーメン、ソーメン、チャーシューメン。(なにしろ、消化のいいものがほんの気持ちばかり。腹は食後0分でペコペコです)

決断とまでいわぬにしても、自分のおもいきりには満足している。汽車にはなにも考えず飛びのってしまう。病院へもとび込んでしまった。ただなんとなく目的地の方に進んでいくてくれるだろうという確信だけをもって。乗らずに気をもんでいるということは私の性格に合わないらしい。綿密な計算による計画ができないのも、汽車にとび乗ってからという気性では無理からぬことかもしれない。

「旅」というものは、人間にとって大切なものの一つのようなのです。日ごろ、その辺にあるありふれたものごとでも、すべてめずらしく、はじめて見たことのような新鮮な完乗でながめられるのです。海！ 山！ それらはただその雄大さ、美しさだけでも、人に自然な、素直な喜びを与えてくれるのです。健康な人にも

傷心の人にも、何かしら新しい力をよみがえらせる魔法の国なのです。虹の橋は、たれとも話さない長い長い汽車の中、流れる緑の川をぼんやりながめながら渡るのです。

みなさん、レジャーブームに乗って「旅」をしましょう。「旅」もいろいろあります。「心の旅路」「ベッドの旅」etc. あの世への旅は、みなさん！ その時がくるまで一番最後にとっておきたいものです。

「春です春です春です」「大好きな春」

ムズムズムズ

音楽こぼれ話

王冠的特権

有名なテナーのレオ・スレザークが、ウィーンの国立歌劇場でアイーダに出演し、その夜のうちにベルリンに向かった。国境の車中で税関吏がはいってきて、乗客の荷物を調べはじめた。役人はスレザークの荷物も乱暴にひっくり返して検査をはじめたが、ある包みを開けると、急に態度を変えて、ペコペコしはじめ、荷物をすっかり整理して「失礼いたしました。殿下」といって引き上げた。かれらが開けた包みから出たのは、アイーダの中でスレザークがかぶった王冠だった。

プロフィール

強い？佐々君、優しい知ちゃん

さっさ ともこ

佐々 知子 さん

(七期)

佐々知子さんは、七期の中の人気者です。知子さんを一語で表現すると、ほがらかということにつきるような気がします。いっお会いしても、その場が急に明るくなるような人。よく食べ、よくしゃべり、よく笑うという仲間の代表みたいな人。でも、たまにはしょんぼりしていることもあります。きっとそのときは、何かを悩んでいるのでしょう。

こんな書き方をする、語弊があるかもしれませんが、その一面、まじめで落ちついたところもある人です。この人をお嫁さんになさる方は、きっと世界中で一番幸福な人かもしれません。(少しオーバーかな？)

知子さんとのつきあいは、高二のときからです。もうずいぶん長いのです。あのころは、いつも一号室に集まって、よく騒いだものです。もちろん現在でも騒ぐことには変わりありませんが、知子さんは、高校を卒業するとすぐ東京に花嫁修業の第一歩を踏み出

されたのです。帰名後はまた第二步、第三步と、今ではもうすっかり用意万端ととのってしまっているのではないかと思われます。

なお、現在では、ご弟妹さんたちはみな東京で、名古屋の家にはお母様と彼女と、静かにおすごしのようです。でも、たまには羽根をのばしているかもしれない。……これからも、今までと変わりがなく、いつまでも朗らかに、また私たちのよき相談相手にもなっていたきたいものです。知ちゃん、今後とも張り切って多方面にご活躍下さい。オワリ！

彼女のことを呼ぶのに、「知ちゃん」という人と「佐々クン」という人がいます。私も「佐々クン」と、クンづけで呼ぶ一人。いくら青白い顔をしていて、上目づかいに人を見ながら、ちよつと口の悪いところを発揮する。しかし、奇妙に親しみを感じさせる人。最初に会ったときに、もう体よくこき使われた(?)。佐々クンには女房閨白の素質があるようです。△あさい▽

シックス・シリーズ (39)

佐々 知子さん

(写真はこの欄へどうぞ)

撮影者 永井 充 (八)

おことわり…写真は次号に同封します

プロフィール・三十五年度

掲載者一覧表

…氏名・期・号・執筆者…

23.	足立 孝子 (六)	44号	△浅井▽
24.	横橋 貞雄 (十二)	〃	△鈴木道▽
25.	福岡二三子 (七)	45号	△村田▽
26.	谷 美保子 (十四)	〃	△伊藤▽
27.	山崎満寿枝 (十四)	46号	△伊藤▽
28.	二井真智子 (十四)	47号	△浅井▽
29.	平山 葉子 (十四)	48号	△矢野▽
30.	小川恵津子 (七)	〃	△村田▽
31.	高橋 洋子 (十二)	49号	△神藤▽
32.	毛利 豊 (五)	〃	△浅井▽
33.	大橋 佑子 (十)	50号	△森本▽
34.	浅井 幸三 (五)	〃	△加藤幽▽
35.	加藤久美子 (十五)	51号	△浅井▽
36.	佐藤 征夫 (十四)	〃	△朝日▽
37.	安田 良江 (六)	52号	△浅井▽
38.	矢野 公子 (十四)	〃	△平山▽
39.	佐々 知子 (七)	53号	△福岡▽
40.	伊藤真知子 (十四)	〃	△矢野▽

△注▽写真は、26谷、27山崎、28二井を森本撮影、あとは永井。

二人以上でプロフィールを書いた分については、その主たる執筆者をしるした。

プロフィール

皆さんすでに、かわいらしい彼女をご存じの方も多いと思います。：昭和三十五年度の、音楽部の副部長として、文化祭を無事終えるまでつとめ、一時は分裂して、解散するのではないかとまで心配されたほど波乱に多かつたわがクラブを、現在の状態にまで建て直した彼女の努力は、クラブの歴史に加えられるだけの価値があります。

現在は、その手腕と、彼女の女性的な行書体の美しい文字、非の打ちどころのない文章を買われ、浅井会長直々の申し出にこたえて、ヴォーカライズの常任編集者として、また会長の片腕となつて活躍しています。

彼女は、現在の高校生にはめずらしい、きちょうめんで、潔癖な面を持っています。その上に彼女の唯一の欠点：すぐ興奮する：も働いて、ときには、あの大きな目をつり上げ、眉の間に深いしわを寄せ（これは彼女の癖）きびしい口調で意見をたたかわせることもあります。が、ほんとうは、末っ子で、大へんな甘えん坊です。ときどきわがママをいって、われわれを困らせますが、かわいらしい顔で頼まれると、つい「仕方ないわ」といってしまふも

のです。修学旅行中、小豆島を一周したとき、バスの窓から、山の上の小さな小学校を見て、「私も、都会の大きな学校より、あんな学校で純真な子たちを教えてみたい……」としみじみと語った彼女：教師一家に育った彼女の目標は、やはり先生なのです。：「二十四の瞳」の女先生が、もう一人現われるのも、遠くないかもしれません。

物事を、一度は必ず自分の身に引きつけて考える人。責任感と自負のある人。純粹さを持ちすぎるために、つい他人にも望みをかけ、きびしさを隠せない人。：でも、やはり病を克服しきれないいま、この人の表情は、ともすると疲れが目立つのです。可能性の多い、楽しみのある女性です。（A）

あまりに潔癖な……

いとう まちこ

伊藤 真知子 さん

（十四期・編集部員）



Invention

○：今月は、プロフィール用の写真を休みます。これは、永井充君が病氣中だったので撮影できなかったから。次号に、計四枚を同封する予定です。

○：先月行なうはずの「会員の声・委員の答え」アンケートが、浅井幸三の不在で実現できませんでした。そのかわりに、編集委員座談会を掲載しました。編集者としてより、会員としての発言が多いみたいですから、会ったのは、三十五年度の大きな進歩の一つといえると思うのです。

○：とにかく早いもので、この号で一応の区切りをつけ、次号からは「新しい委員による新鮮な機関紙」が、みなさんのお手元に届くことでしょう。さて、だれが委員になるか、楽しみですね。：「どうだい、役員選挙の予想を載せようか」「そんなことしたら、予想に出た人ばかりに票が集中してしまうよ」：53号編集会議の一コマです。

○：というわけで、長らくご退屈さまでした。私も委員会、編集部も、めでたく（ほんとうかな？）打ち上げです。いろいろありますがごさいました。

：伊藤・森本・浅井

A K C ヴォーカライズ

1960 年度 行事・企画一覧

→ 機関紙 Vocalize (月刊) 主要記事 ←

- 第 44 号 35 年 5 月 1 日 (日) 10p 「みんなにきかせるひとりごと」(CHORUS) (会員名簿)
 第 45 号 6 月 1 日 (水) 8p 「古いメンでは腹がへる」・合唱団めぐり③ C B C
 第 46 号 8 月 15 日 (月) 6p 「ひとり旅」・招待席 C<イムペリアルフィル>
 第 47 号 10 月 15 日 (土) 8p 「気弱く気強く…」・招待席 C<オペラ・魔笛>
 第 48 号 11 月 1 日 (火) 12p 特集 [A K C 発表会を聞いて]「続ほたる草」② (CHORUS)
 第 49 号 12 月 5 日 (月) 8p 「合唱団についての私の意見」・「続ほたる草」③ (CHORUS)
 号外 12 月 11 日 (日) 2p (クリスマスのつどい案内) (下半期行事プラン)
 第 50 号 36 年 1 月 15 日 (日) 16p 特集 [Vocalize50 号に寄せて] [浅井会長プロフィール] 「パンの起源」 「ヴォーカライズ新春の夢」 (CHORUS)
 第 51 号 2 月 15 日 (水) 12p 「51 号に寄せて」・招待席 C<N 響>・楽譜「マンマ」
 第 52 号 3 月 12 日 (日) 8p 「ある日のこと」 (CHORUS)・楽譜「愛の花」
 第 53 号 4 月 5 日 (水) 18p 特集 [A K C ヴォーカライズの 35 年度をかえりみて] (CHORUS) 「ベッドの中で」 「私の修学旅行」
 ・編集部員座談会 (会員便覧)・招待席 C<リゴレット>
 ・楽譜「静けき馬車」「豚飼い」

—注— [] は特集、「」 は一般原稿、・ は企画、() はニュース的なもの

→ 招待席 C 参加者 ←

- 第 26 回 東京フィルハーモニー
 交響楽団 35 年 4 月 21 日 市公会堂 平山葉子・池谷芳子
 第 27 回臨 ボストン交響楽団 5 月 18 日 市公会堂 千本木宣子
 第 28 回 ダークダックス 5 月 24 日 市公会堂 安田良江・拝郷比呂子 (川村朋子)
 第 29 回 イムペリアルフィル
 ハーモニー交響楽団 6 月 21 日 市公会堂 高橋昭弘・岡島 孝 (森本 進)
 第 30 回 二期会オペラ「魔笛」 9 月 22 日 産経ホール 若林延昌・石井よし子 (浅井幸三)
 第 31 回 日本フィルハーモニー
 交響楽団 10 月 22 日 市公会堂 上前佳子・永井 充 (神藤敏子)
 第 32 回 東京交響楽団 12 月 16 日 文化講堂 矢野公子・世古伊都子 (村田陽子)
 第 33 回 NHK 交響楽団 36 年 1 月 23 日 フェスティバル 原まき子・松沢暢夫 (中尾桂二)
 第 34 回 NHK 交響楽団 2 月 3 日 市公会堂 朝日裕晶・佐藤征夫 (伊藤真知子)
 第 35 回 オペラ「リゴレット」 3 月 24 日 市公会堂 太田岸子・加藤久美子 (矢野公子)
 —注— () 内は編集部 産経ホールは東京、フェスティバルは大阪

→ 各種会合 <A K C ヴォーカライズ主催> ←

ヴォーカライズのつどい

- 第一回 (名古屋) 35 年 6 月 12 日 東山植物園 参加者 18 名 (卒 5、在 13)
 第二回 (東京) 11 月 6 日 日本橋「ロビー」 8 名 (東 7、名 1)
 クリスマスのつどい
 第 5 回 (年次) 35 年 12 月 25 日 旭丘高校音楽室 参加者 24 名 (卒 7、在 17)
 定例委員会 (35 年度)

①5.1 ②5.28 ③7.3 ④9.3 ⑤10.3 ⑥11.19 ⑦12.10 ⑧1.15 ⑨3.20

ほかに編集会議